

港を体験する

-堺旧港ワークショップ-
2020.12.19(Sat)

1班

M1

伊藤祥汰 大阪市立大学 都市基盤計画研究室

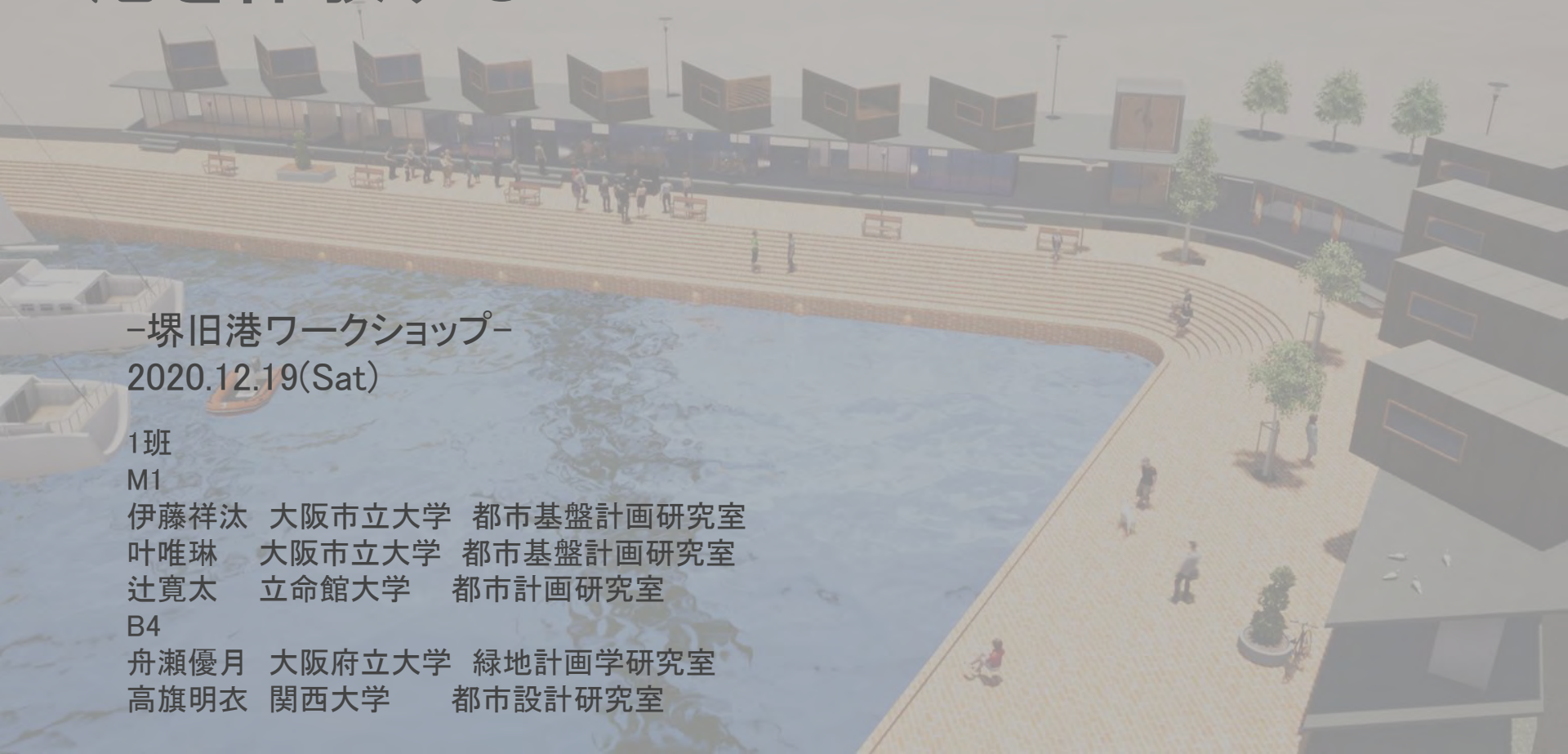
叶唯琳 大阪市立大学 都市基盤計画研究室

辻寛太 立命館大学 都市計画研究室

B4

舟瀬優月 大阪府立大学 緑地計画学研究室

高旗明衣 関西大学 都市設計研究室



目次

1. コンセプト

2. 建物概要

- ・建物の概要
- ・パース
- ・ポンプ場リノベ案

3. 動線提案

- ・現状の動線と課題
- ・提案内容

1. コンセプト

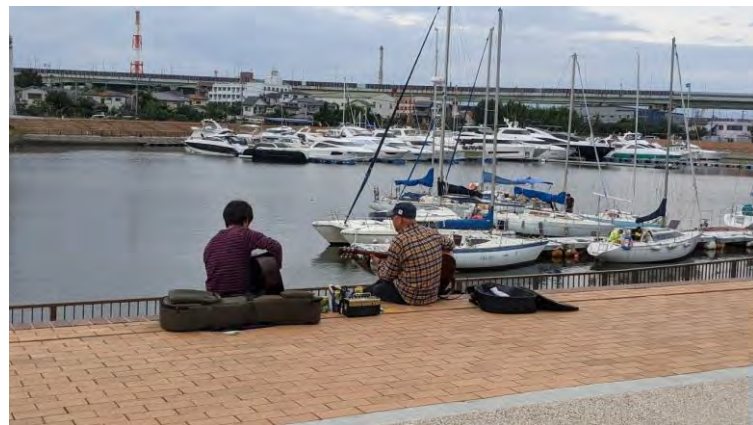
コンセプト

港を体験する

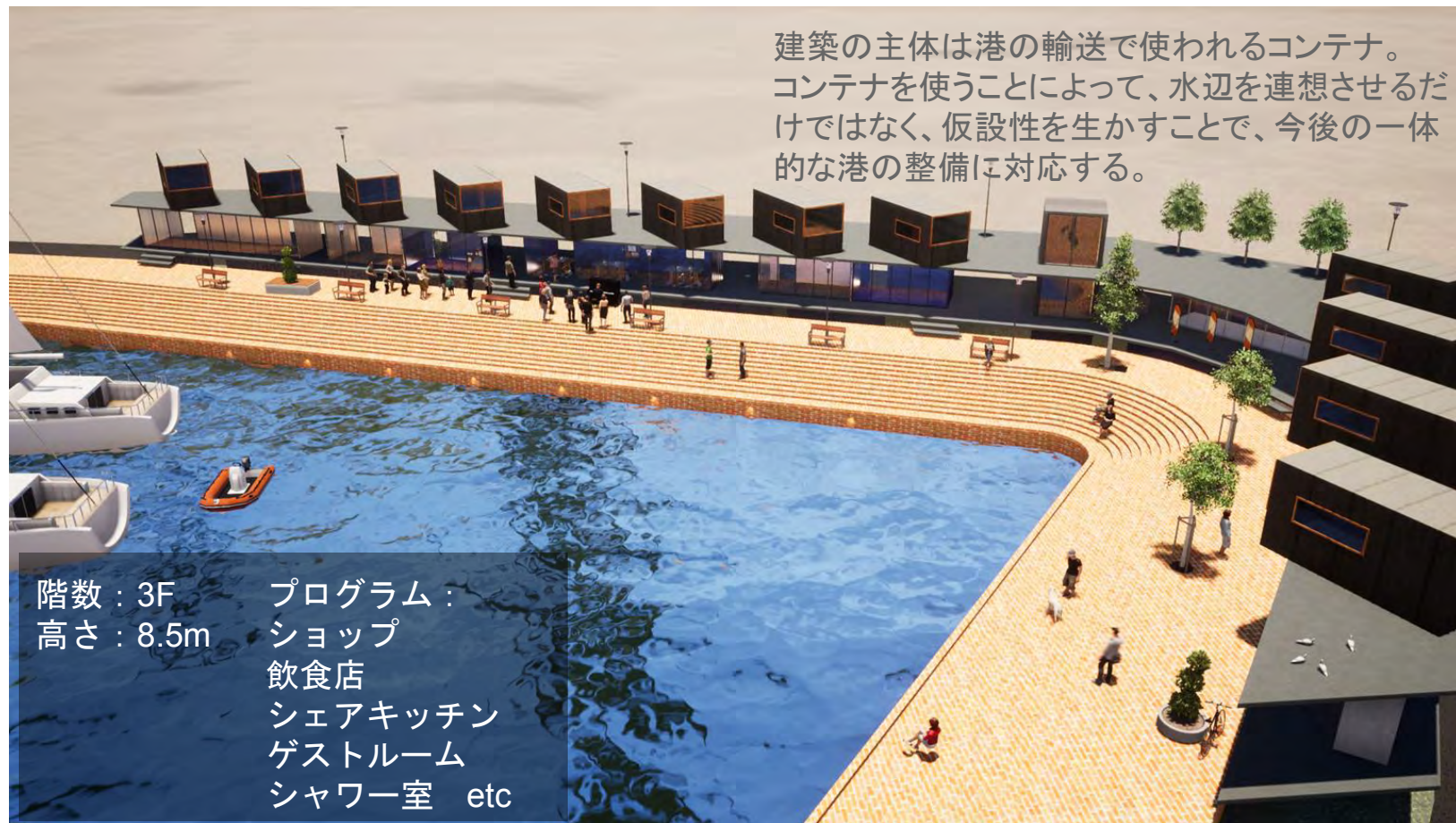
堺旧港は、護岸工事が完了し、海岸のハード面については整いつつある。
しかし、そこに人のための空間は無く、閑散としている。

一方で、旧港にはヨットが泊まり、周辺住民も散歩などで訪れる。
また、堺では穴子や昆布を初めとする漁業や刀や鉄砲といった鉄鋼業に歴史を持つ。

そこで、私たちは港を使う人々に堺の歴史や水辺を感じ取れる場を提案する。



2. 建物概要



建築の主体は港の輸送で使われるコンテナ。コンテナを使うことによって、水辺を連想させるだけではなく、仮設性を生かすことで、今後の一体的な港の整備に対応する。

階数 : 3F
高さ : 8.5m

プログラム :
ショップ
飲食店
シェアキッチン
ゲストルーム
シャワー室 etc

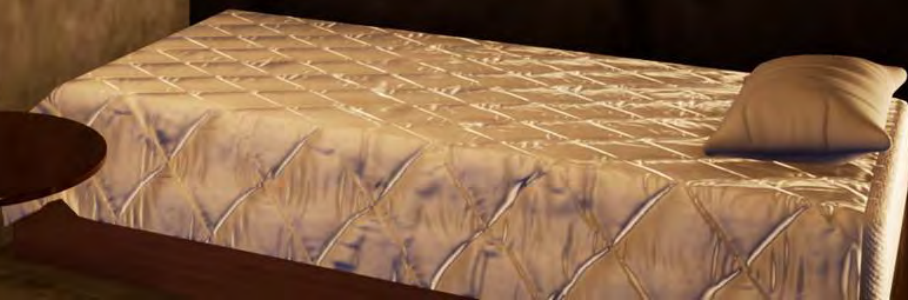
2階部分には、魚のさばき方などを学べる料理教室など、堺の産業を体感できるコンテンツを埋め込む。
地域住民×地元産業で堺のブランディングを行っていく。



護岸からアプローチしにくい1階部分は
サイクリストやヨット所有者が利用するシャワー室
やガレージ、キッチンを設置。
公共性の高い建築にも、プライベート性の高いフ
ロアをつくることで、護岸に親近感をもつ人たちを
育てる。



3階部分はヨット所有者の前泊、サイクリストの中継地点として、ゲストルームを設置。
静かな夜の海を楽しむスポットとしても本建築は活躍する。



2. 建物概要 -ポンプ場リノベーション案-

現状

周辺は工場があり、高架下が薄暗い、アクセスルートが狭いということから護岸へのルートに魅力が感じられず、護岸への誘導ができない。

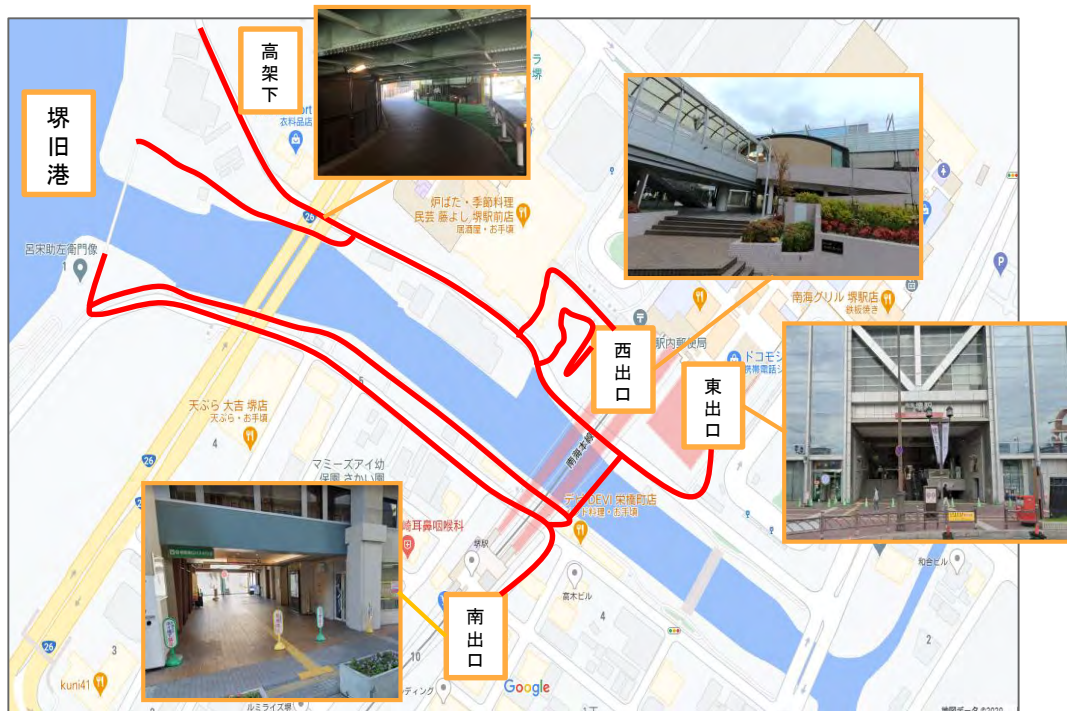


提案

明るく開いた空間とし、賑わいを見せることで親水護岸への誘導となるような場所を形成する。

- ・高架下西側の建物内のテナント(音楽バーや飲食店)をポンプ場に移転し、ポンプ場をビアバーや音楽ステージとして利用
- ・高架下西側の建物は取り壊し、既存のスロープと連結した広めのスロープを形成

3. 動線提案 -動線の現状と課題-



動線の決定

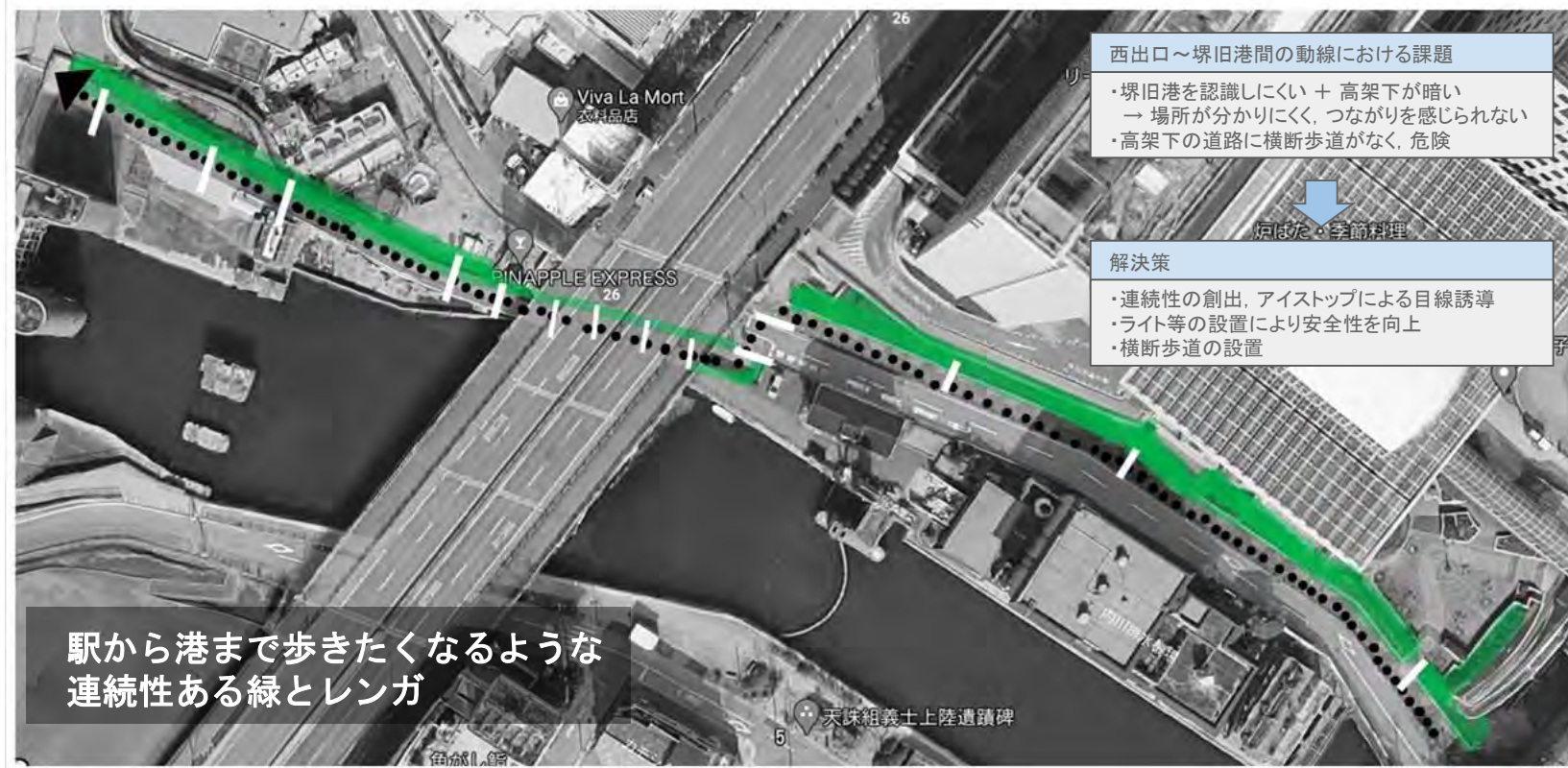
・利便性, 駅からの距離などの観点から西出口～堺旧港間の動線を検討

本動線の課題

- ・堺旧港を認識しにくい + 高架下が暗い
→ 場所が分かりにくく, つながりを感じられない
- ・高架下の道路に横断歩道がなく, 危険



3. 動線提案 -提案内容-



3. 動線提案 -提案内容-



歩きたくなる高架下の遊歩道

欠点

- ・高架下をくぐり抜けた先の道や港が入口付近からは見えない
- ・暗く車道の方へ視線がいく
- ・車道と河川にはさまれている上、ガードレールなどで仕切られているため遊歩道としての境界が分かりにくい

3. 動線提案 -提案内容-



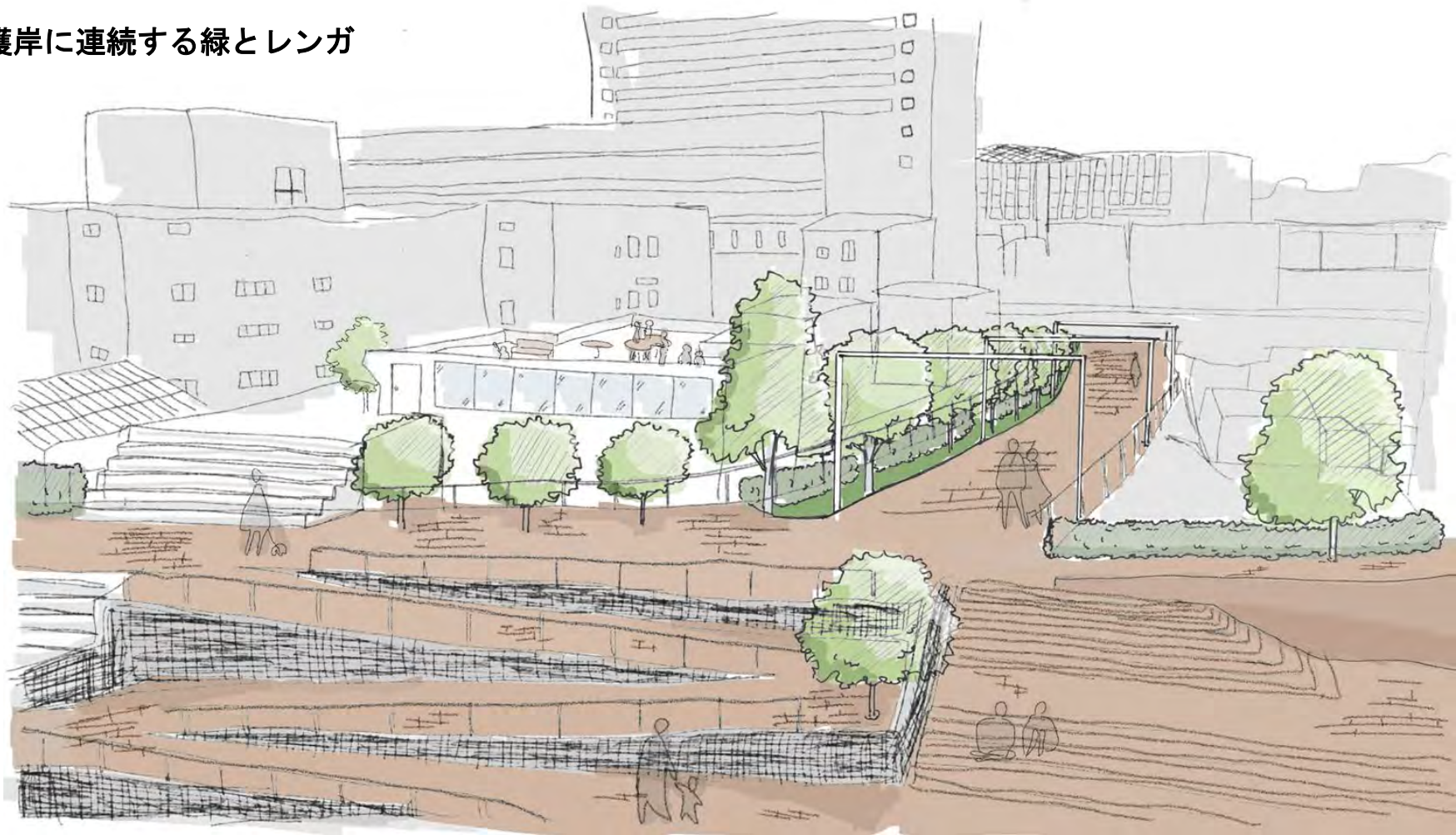
歩きたくなる高架下の遊歩道



提案

- ・コンテナを意識した四角い白枠をトンネルのように駅から連続させる事で視線の誘導を図る。
- ・芝生と低木により車道との境界が滑らかなものになる

護岸に連続する緑とレンガ



sakai

Cyclium Station

2班

2020

2020/12/18

CONTENTS

01

堺の現状

02

課題

03

提案

04

まとめ

01

堺の現状

堺の現状

-大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンより-

大阪湾内の拠点を結ぶネットワークを充実させ、多様な移動手段の確保、ベイエリアの回遊性の向上を図る

海の駅の連携など、海洋レクリエーションの活性化を図る

大阪湾と瀬戸内・西日本を結ぶ海上ネットワークの形成、周遊クルーズの充実等により大阪の観光魅力を高める



堺の現状

-大阪広域バイエリアまちづくりビジョンより-

観光やスポーツとしてのサイクリング環境を整備し、新たな人の動きを創出する

シェアサイクルの効果的な活用により、内陸部から臨海部へのアクセスや臨海部の回遊性の向上を図る



ヒトモノの拠点となるポテンシャル

ヒト



周辺サイクルルートをつなぐ広域ネットワークを形成

モノ



環濠都市の歴史文化を有する関西のゲートウェイ

02

課題

堺旧港周辺の現状

①敷地周辺はアクセスが悪い

③工業・住宅・港それぞれが分断されている

②立ち寄る目的がない

④滞留空間の欠如

03

提案

敷地・堺市のポテンシャル -mobility-

堺市に点在するレンタサイクルの存在

運送業のためのインフラの一つである阪神高速大浜料金所の存在

遊覧船や個人所有の船などの存在

南海堺市駅からの近さ

これらのモビリティの効果を最大化する複合施設を提案する

ヒトモノコトのハブとなる複合施設

①堺や大阪に来るヒトの受け皿となる

②堺や大阪に向けモノ、コトを供給する

③堺や大阪からくるモノ、コトを受け入れる

④大阪ベイエリアの回遊性向上

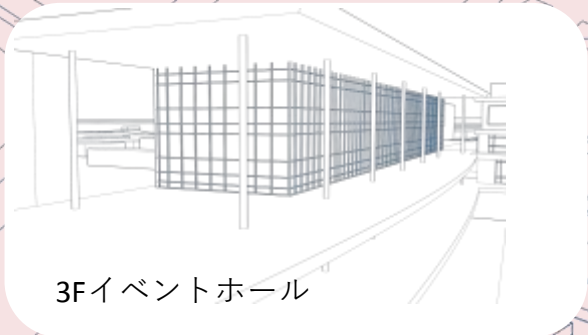
提案プログラム

市有地
4Fホテル
3Fイベントホール・レストラン
2Fモビリティプラザ・商業エリア
1F駐輪場・駐車場

ポンプ場
2F展望テラス
1F観光案内所・レンタサイクル遊覧船の受付

2020/12/18

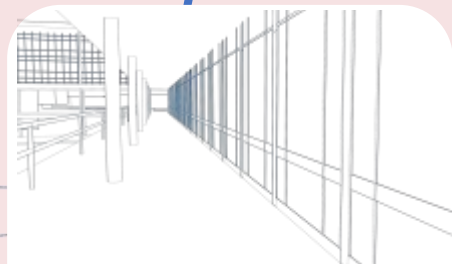
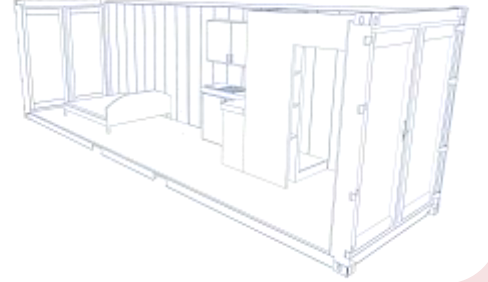
①堺市や大阪に来るヒトを受け入れる



3Fイベントホール

4Fコンテナホテル

大阪周辺の観光客を受け入れるホテル



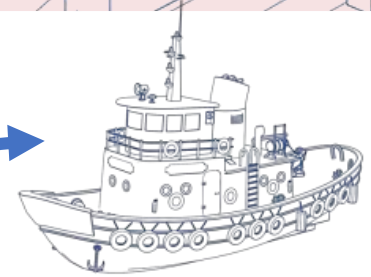
2,3F商業施設・レストラン

2020/12/18

②堺市や大阪にモノ、コトを送り出すハブとなる

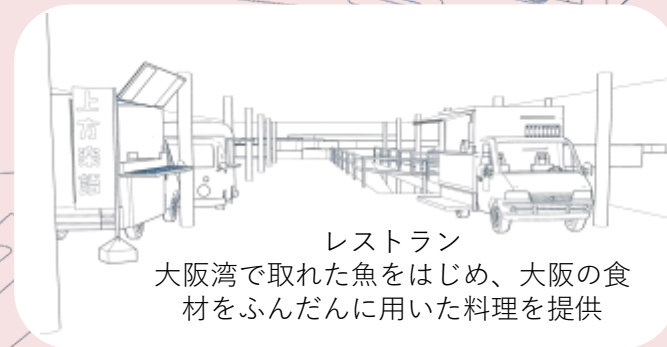
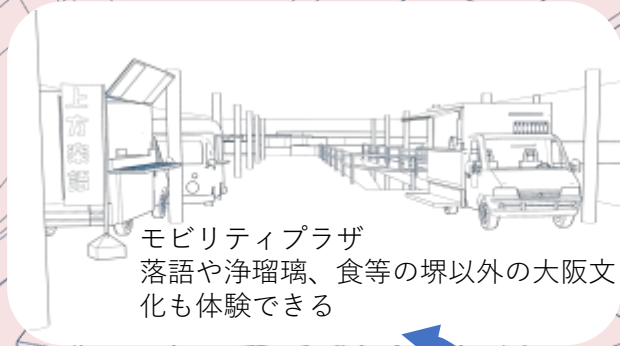


フードトラック
大浜公園をはじめ堺市に販
売をもたらし

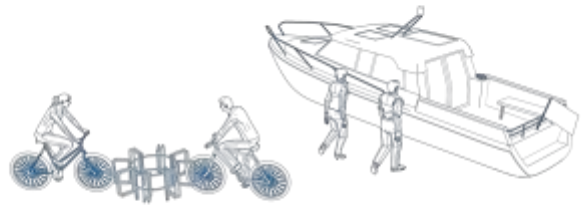


船で自転車を移動
サイクリングルートの大阪広域への拡張

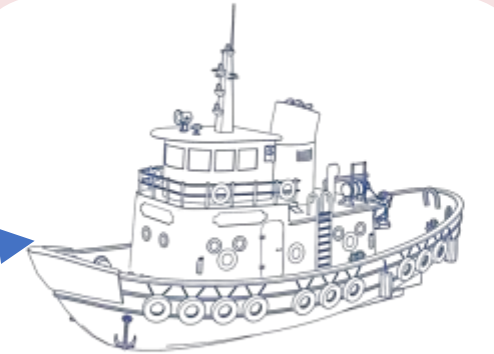
③堺や大阪からくるモノ、コトを受け入れる



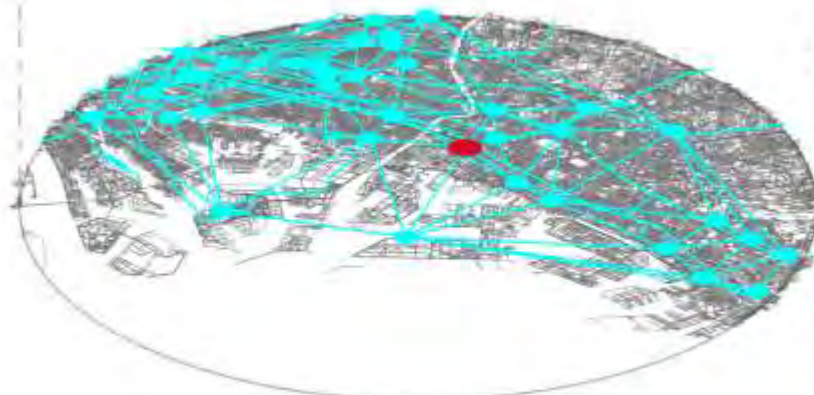
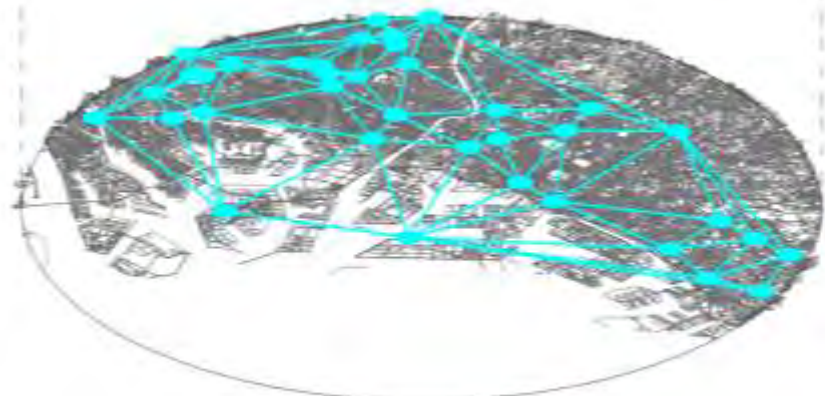
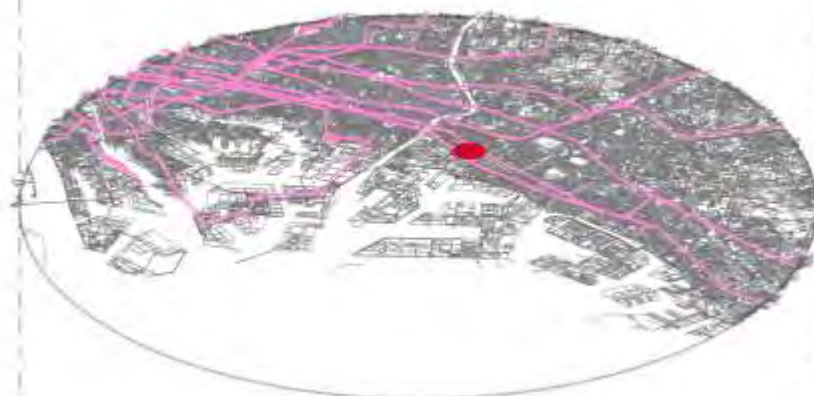
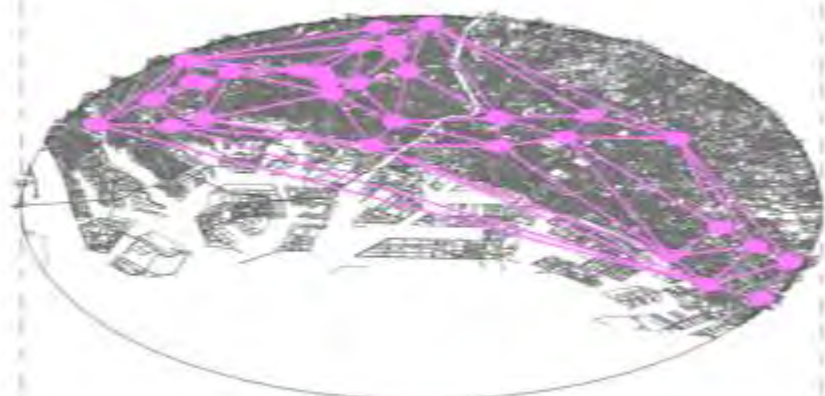
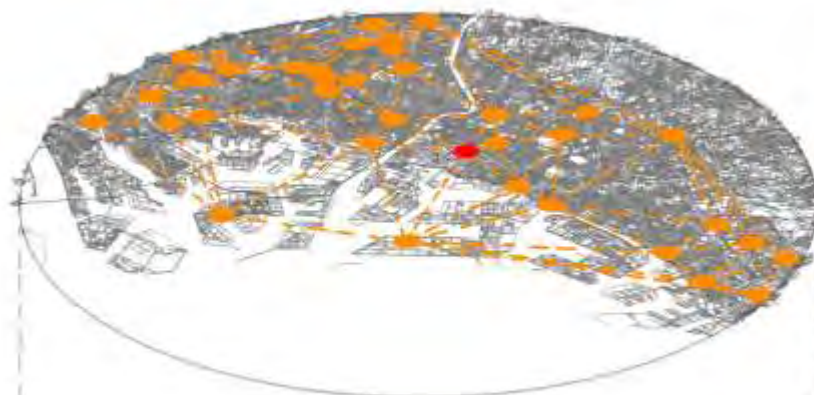
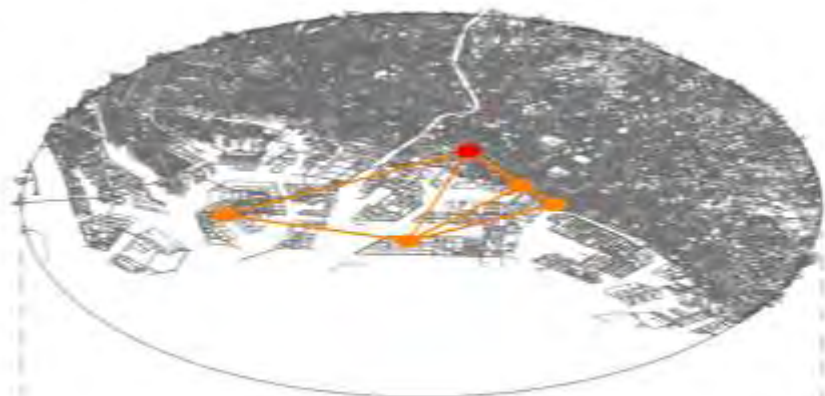
④大阪ベイエリアの回遊性向上



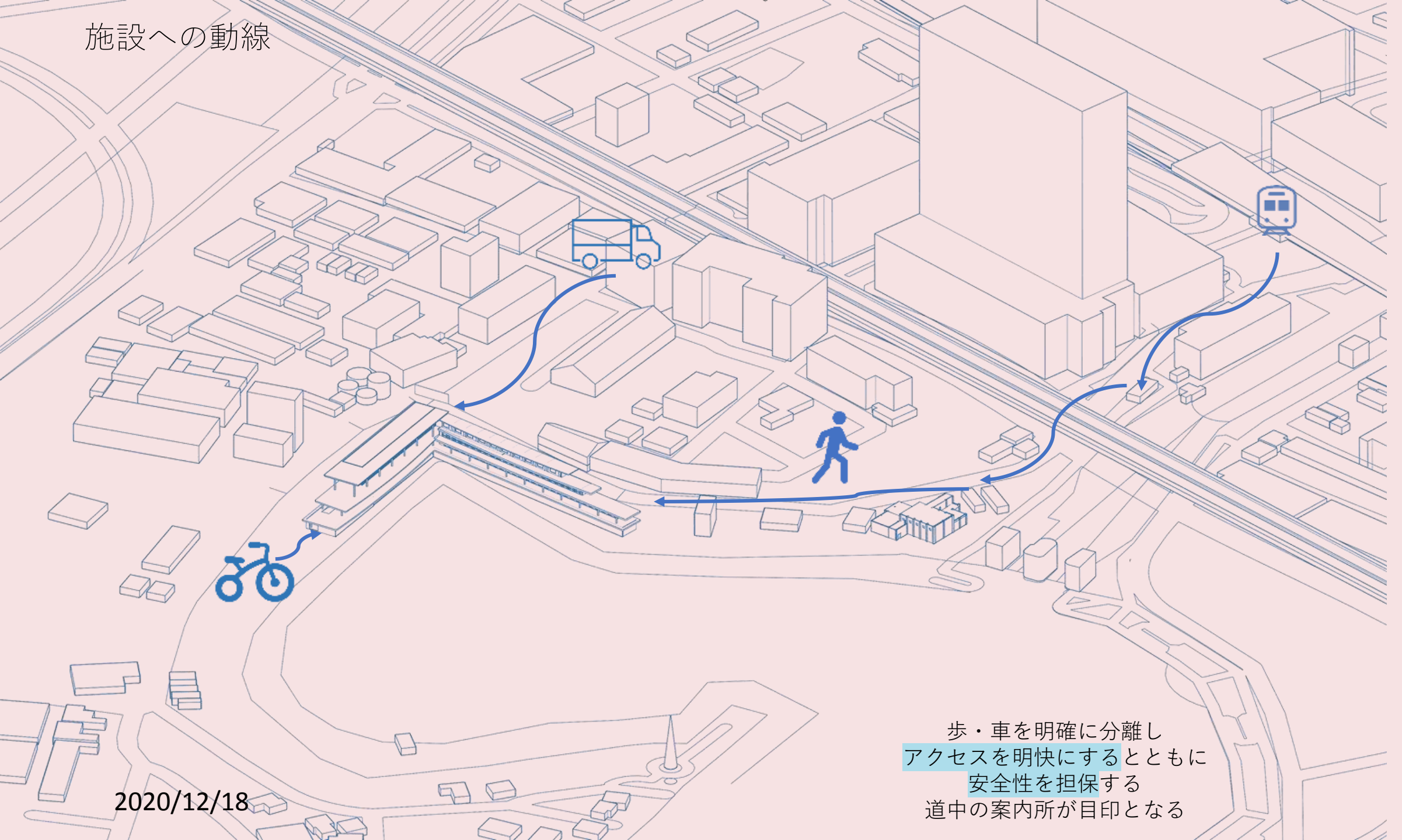
港に自転車を止めて、乗船



自転車を船で移動
サイクリングルートの大坂広域への拡張



施設への動線



2020/12/18

歩・車を明確に分離し
アクセスを明快にするとともに
安全性を担保する
道中の案内所が目印となる



2020/12/18

メインパース



2020/12/18

ポンプ場パース

運営形態



管理運営

収益

観光案内所

船着き場の管理運営

管理運営

収益

公園・イベントスペース

住民と利用者の交流を促すイベント開催

content

04

まとめ

堺旧港から広がる波及効果

Step1

ヒトモノコトが集まる拠点

Step2

堺旧港から周辺地域へヒトモノコトを発信

Step3

波及効果を生み出し大阪ベイエリア全体の魅力を高める

sakai

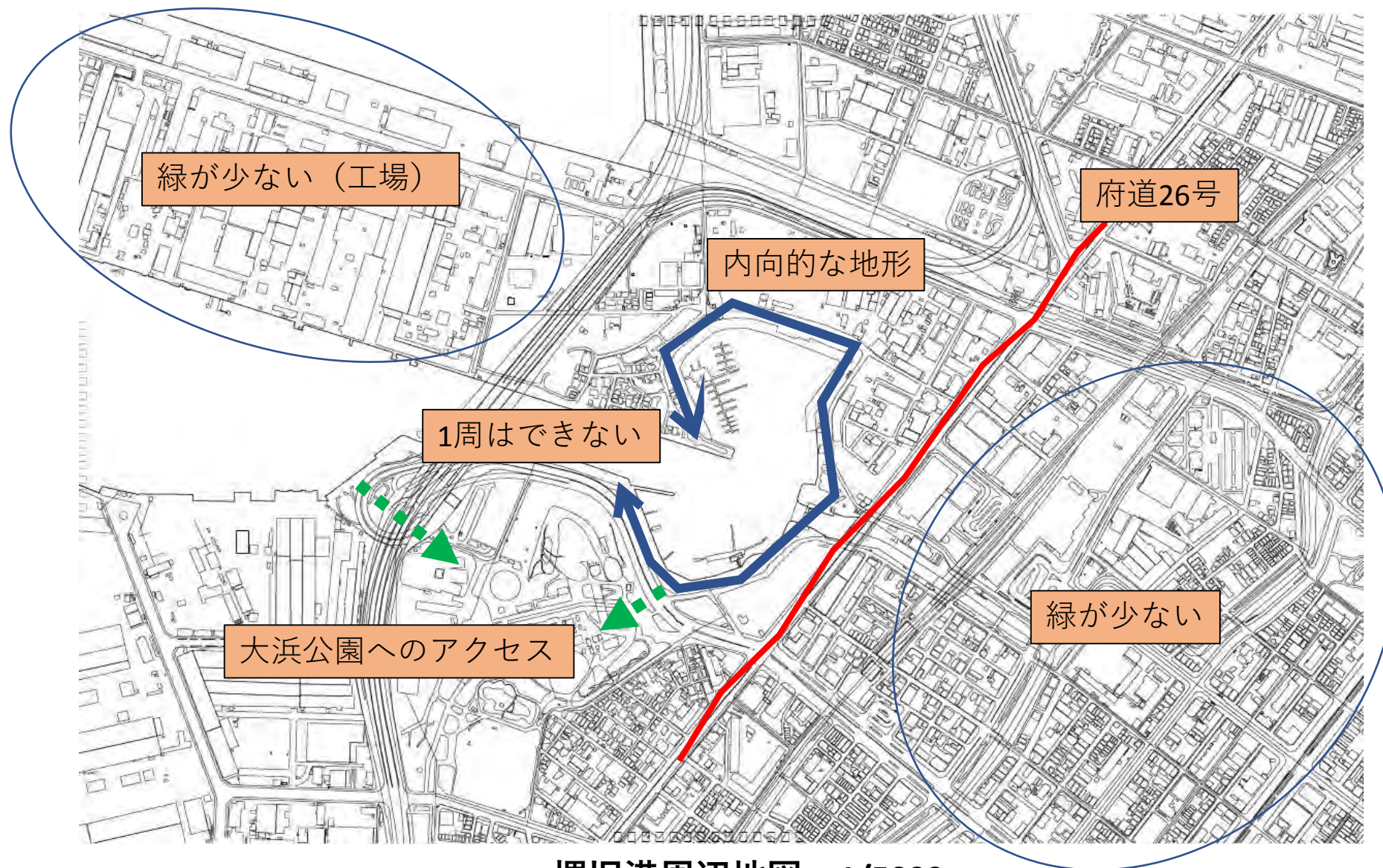
Thank
Watch

2
0
5
0

堺旧港周辺のまちづくりを考えよう

3班（石井真弘，蔡曉敏，竹中健起，長森春名，安井葉日花）

現況分析（資料を見て）



堺旧港周辺地図 1/5000

現況分析（現地調査結果）

- 何もなく殺風景な印象
- 堺旧港と街との分断感
- 堺旧港を徒歩で周遊するのに時間がかかった



大魚夜市

- 鎌倉時代からの伝統といわれる
- 現在でも市内最大のイベント
- 毎年7月31日の夜、昭和30年代前半までは港に隣接する大浜海岸で、今は大浜公園で開かれている

資料:『和泉名所図会』
寛政8年(1796)【堺浦魚市】



国際交流（中世）

- 堺は東・東南アジアのターミナル港の一つであった
- テイセラ・オリテリウス『日本図』には都と並んで堺が代表都市として記載されている
- 1543年にポルトガル船が種子島にもたらした火縄銃を堺が大量生産、戦国動乱時代の戦いを一変させた

資料:堺市博物館蔵
【テイセラ・オリテリウス『日本図(1595)』(部分)】

緑の役割

大阪府

- 日本の中でも緑地面積の少ない地域
- 中心地は特に少なく、県境に集中
- 大阪府域の地形を活かし、海と山をつなぐみどりの風の軸の創出を目指している

堺市

- 緑軸の中心部分を担う地域
- 臨海エリア、環濠都心エリア、百舌鳥野エリアは緑のシンボルエリア（緑を創出するエリア）に指定されている

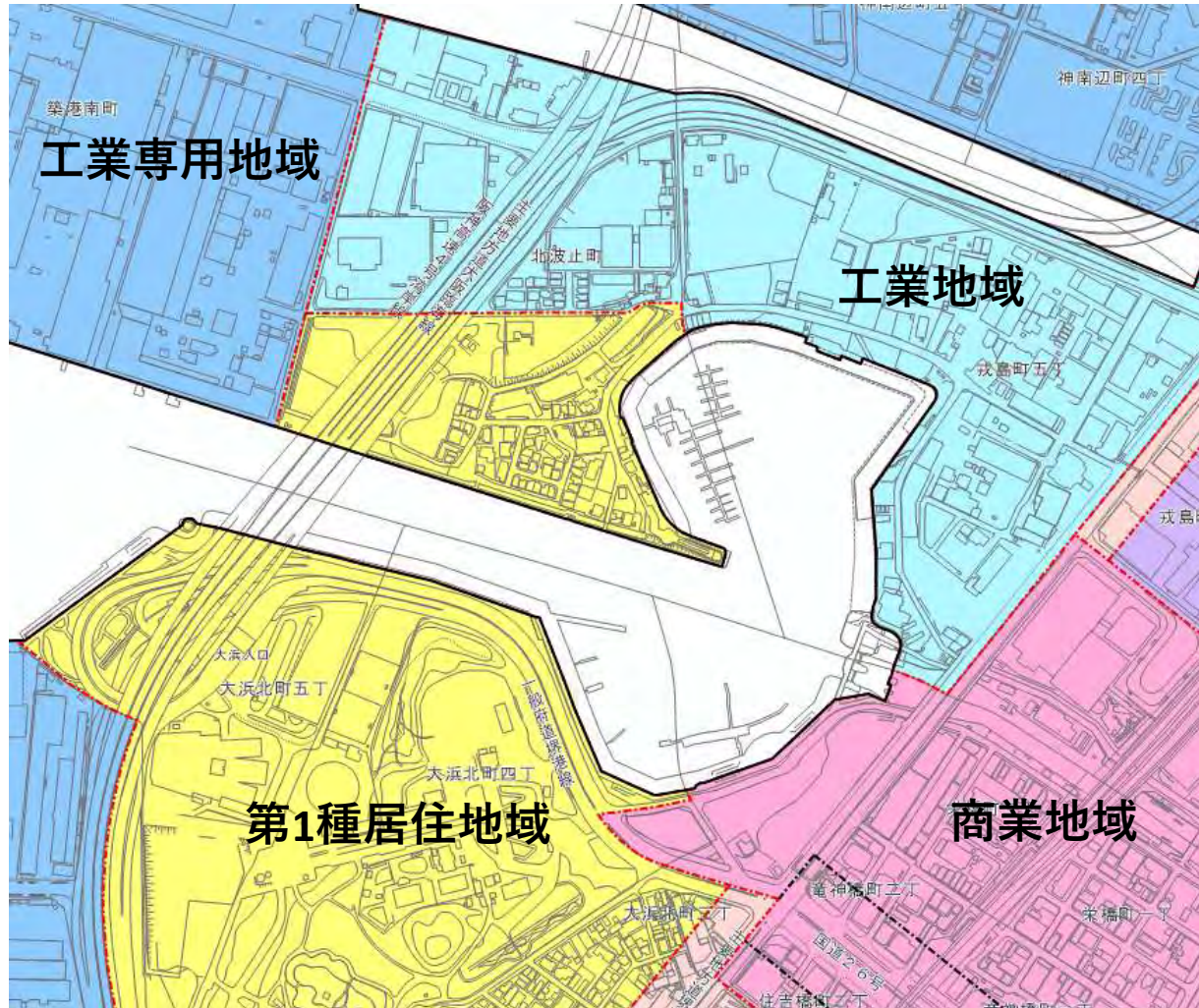
堺旧港

- 軸線の末端である臨海エリアをつなぐ重要なエリア

→現段階では緑が少ない！！



現況の都市計画



堺旧港周辺の土地利用図 (堺市e地図帳)



堺旧港周辺 (Google Map)

現況の都市計画を変更せずに進める

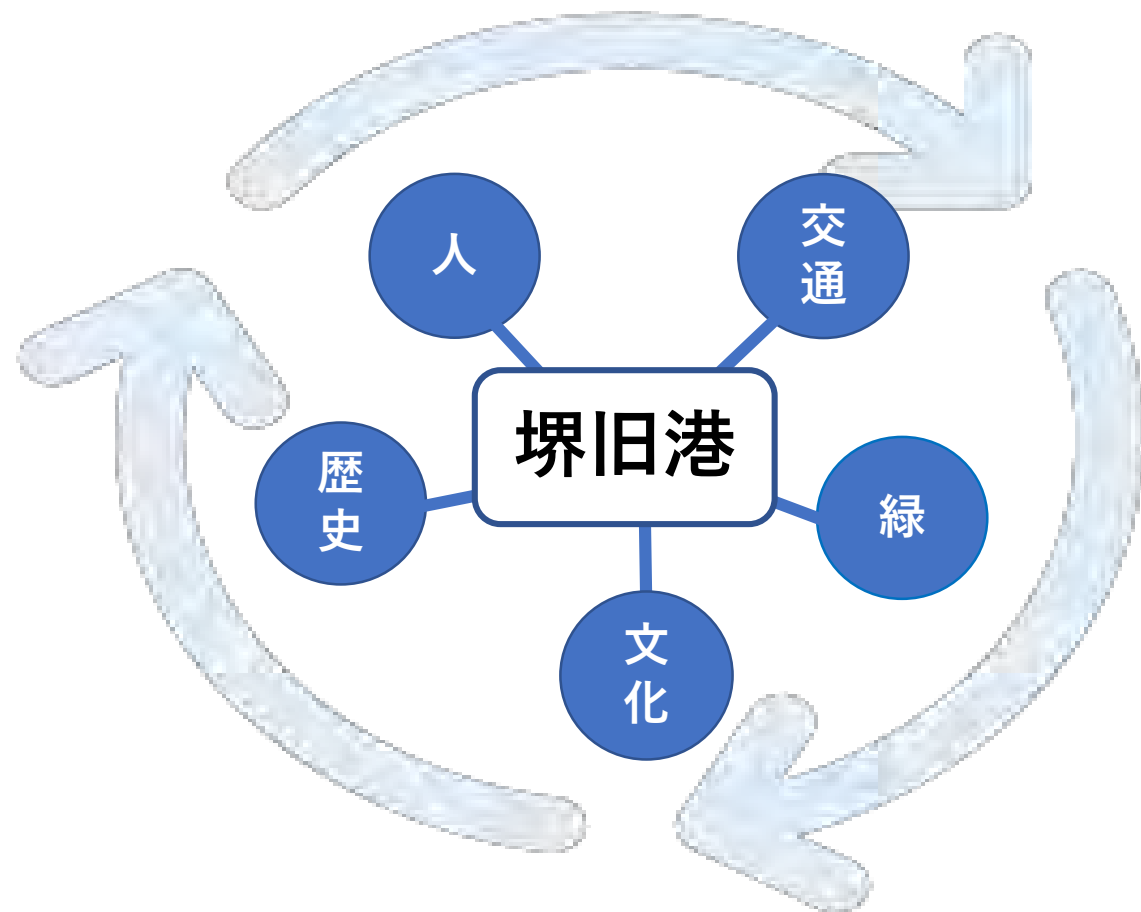
コンセプト：縁（えん）と縁（ふち）をつなぎ、環をつくる

旧港と街中の
【縁(ふち)】をつなぐ

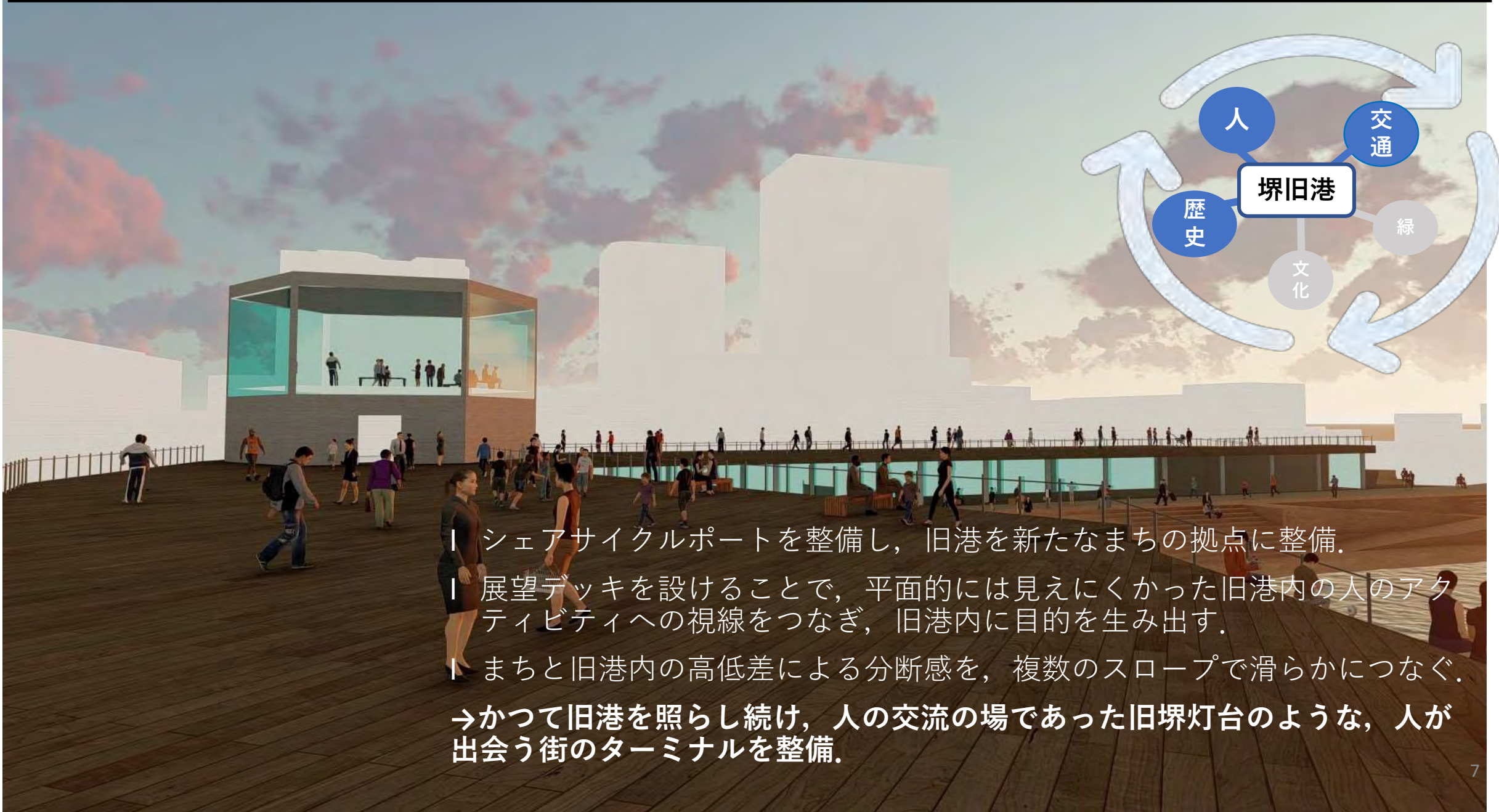
+

国内と国外・
観光客と地域住民の
【縁(えん)】をつなぐ

→ 縁（えん）と
縁（ふち）をつなぐ



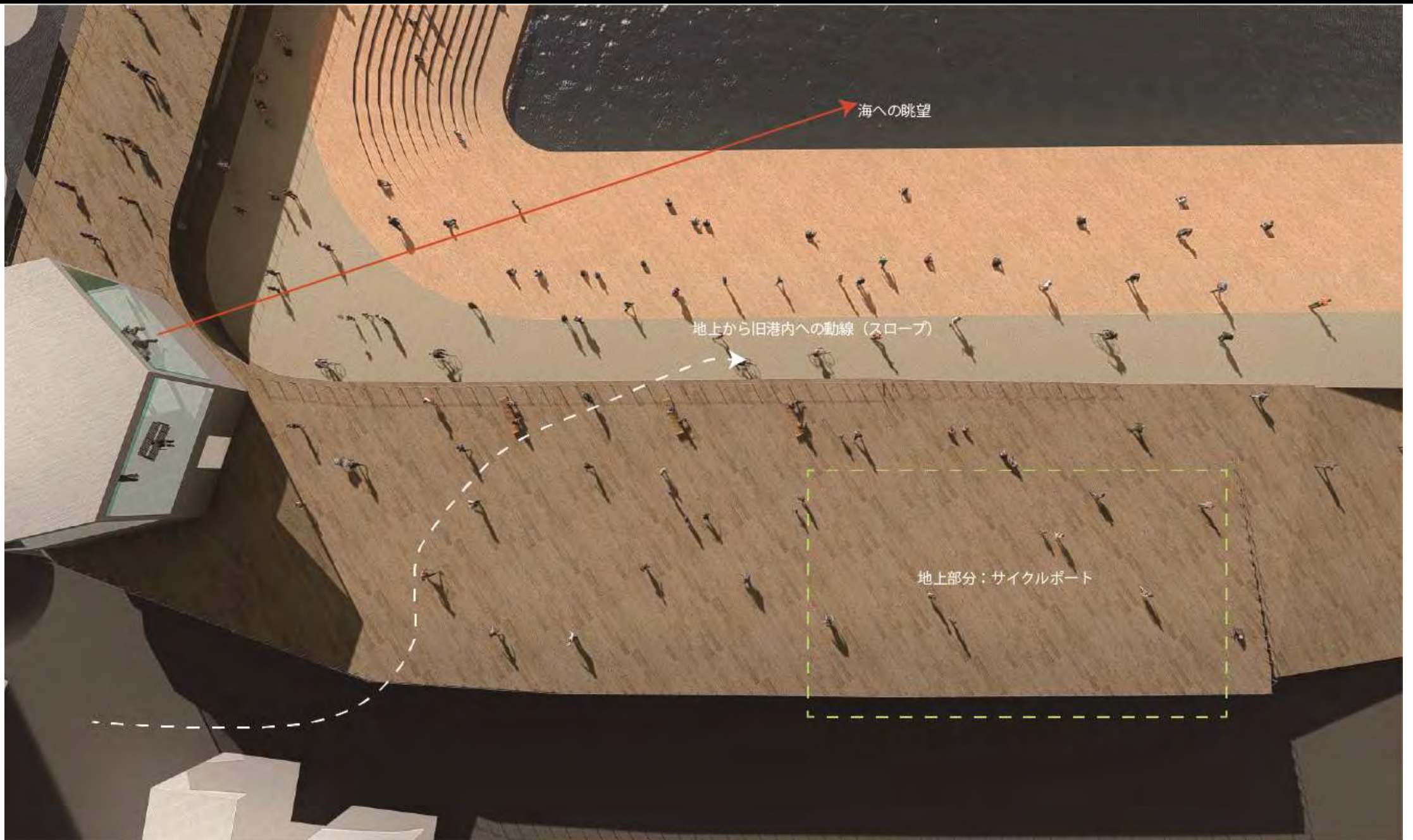
→ 環（わ）をつくる



- | シェアサイクルポートを整備し、旧港を新たなまちの拠点に整備。
- | 展望デッキを設けることで、平面的には見えにくかった旧港内の人のアクティビティへの視線をつなぎ、旧港内に目的を生み出す。
- | まちと旧港内の高低差による分断感を、複数のスロープで滑らかにつなぐ。
→かつて旧港を照らし続け、人の交流の場であった旧堺灯台のような、人が
出会う街のターミナルを整備。

府有地 土地利用案





府有地 土地利用案 旧港内のアクティビティ



府有地 土地利用案 旧港内のアクティビティ（夜間）

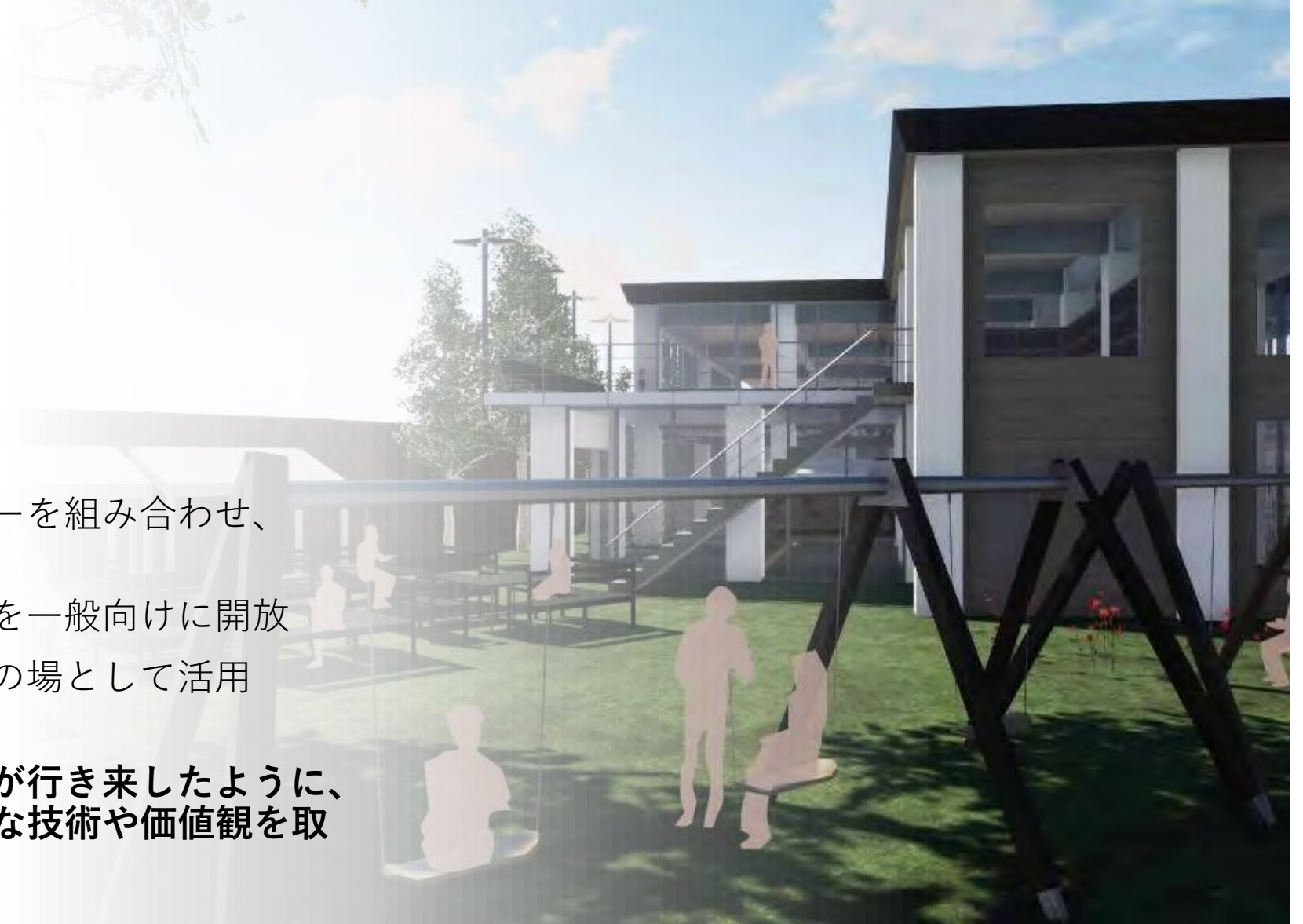
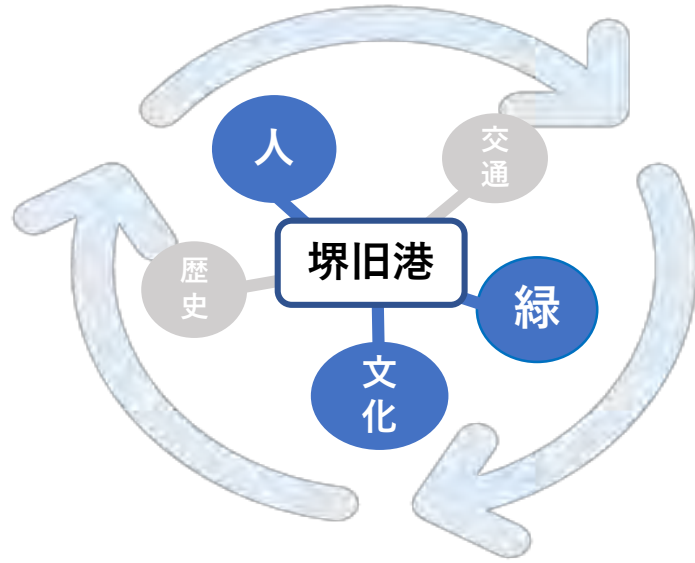


高さを活かした見慣れない景色を楽しむ

店舗照明を使って海辺で読書

旧港内を一部占用して夜カフェ

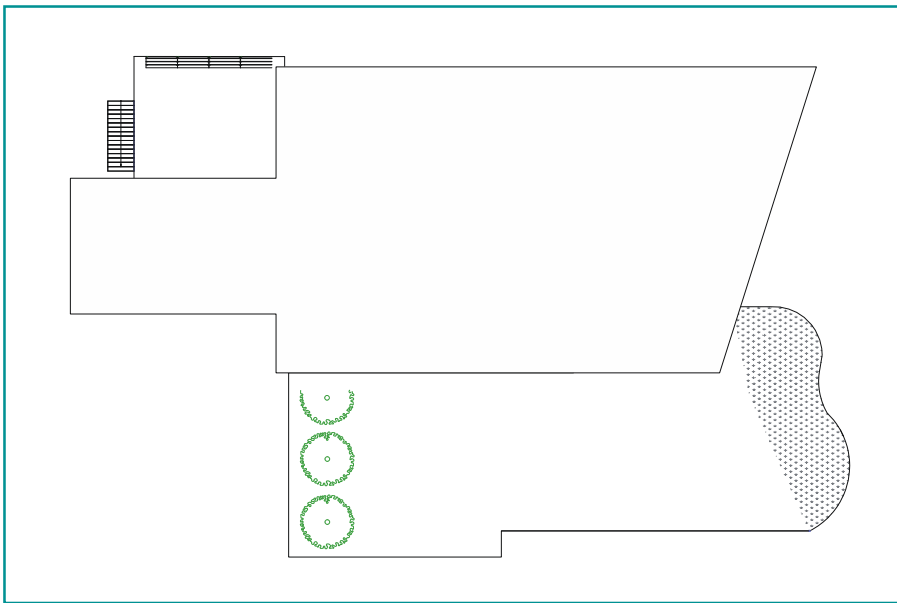
ポンプ場 土地利用案



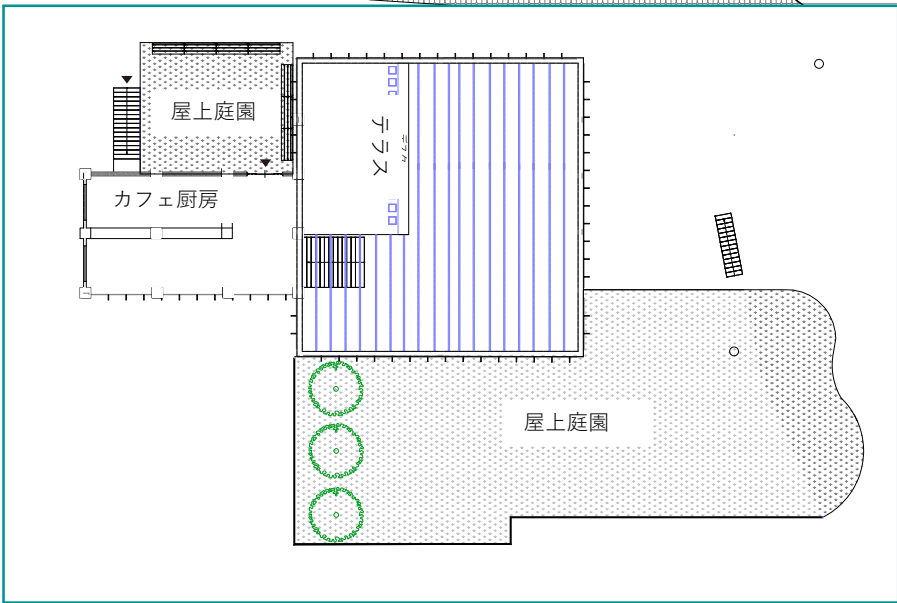
- Ⅰ グリーン思考とエコテクノロジーを組み合わせ、
教養の空間に
- Ⅰ ポンプ場を活用した植物づくりを一般向けに開放
- Ⅰ アイデアや意見交換、エコ教育の場として活用

→かつて貿易で様々なものづくりが行き来したように、
多様な人との交流を通して、新たな技術や価値観を取り入れる場に！

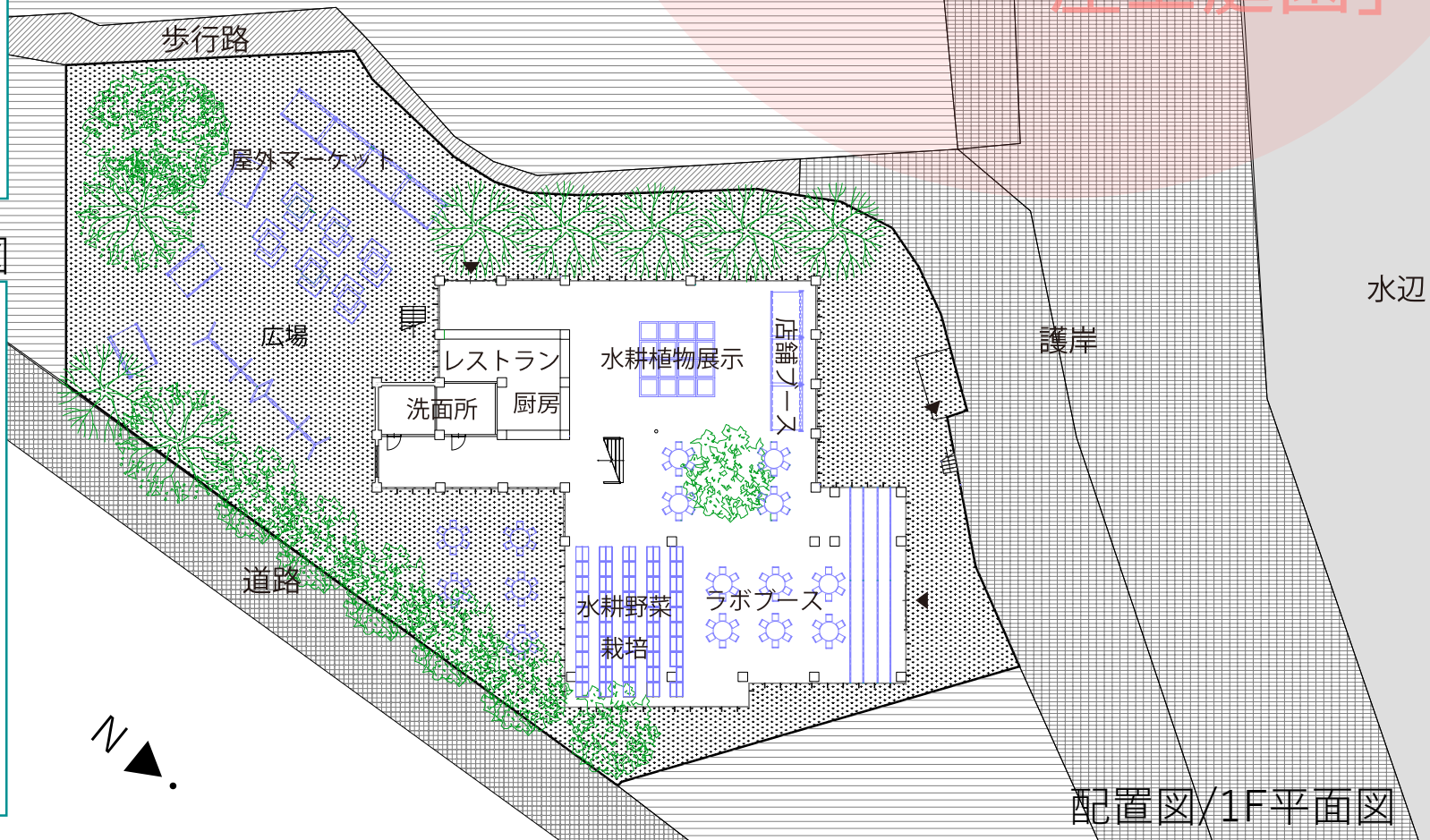
屋根伏せ平面図



2F平面図



①ポンプ「水耕栽培」
 ②連動感「屋外空間」
 「水平屋根」
 「屋上庭園」



配置図/1F平面図

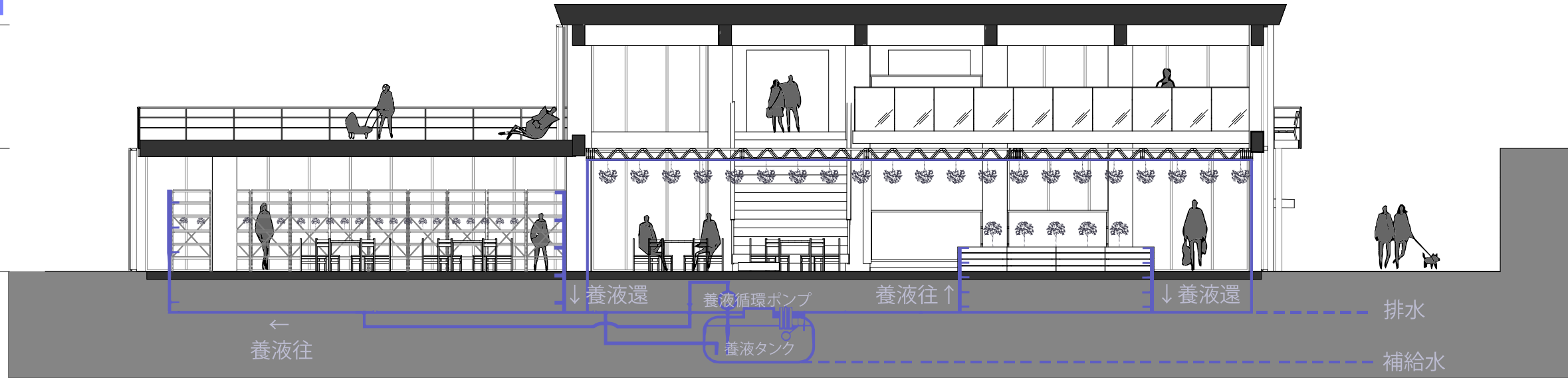
① ポンプ「水耕栽培」

: ポンプ場のポンプシステムやパイプを活かした設計
植物や野菜を育てる溶液を循環させる

RFL
▽

2FL
▽

1FL
▽

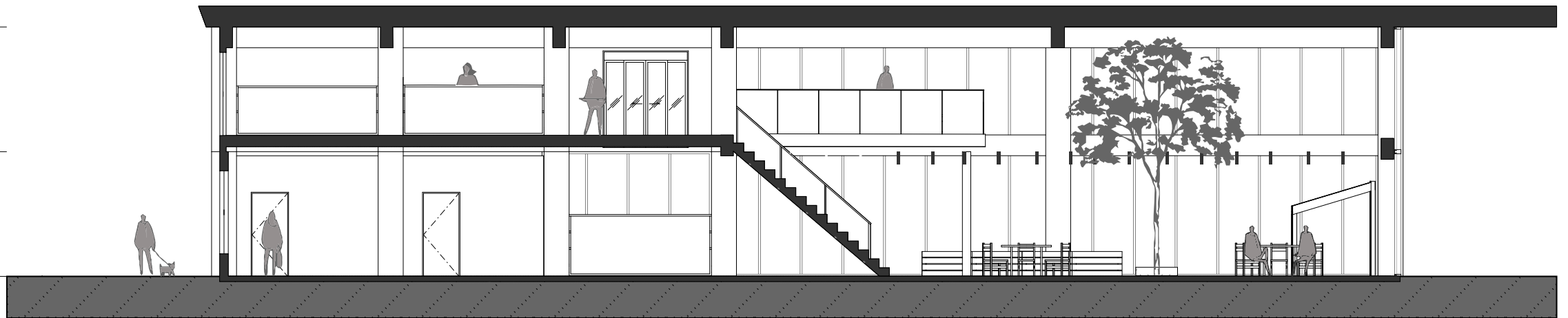


南東側断面図

RFL
▽

2FL
▽

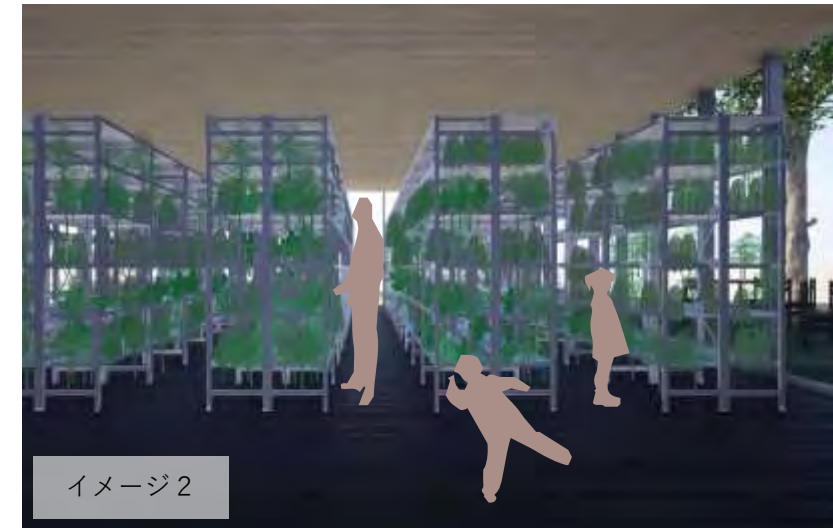
1FL
▽



南西側断面図



イメージ1



イメージ2

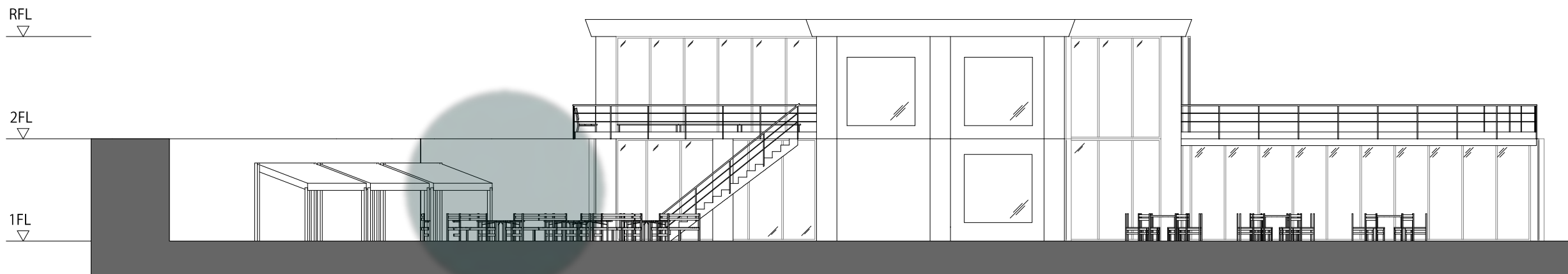
①ポンプ 「水耕栽培」

水耕栽培…養液栽培のうち、固形培地を必要としないもののこと。

〈方法〉

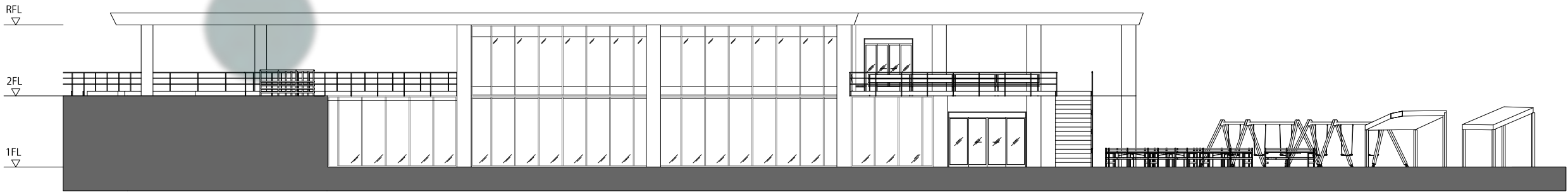
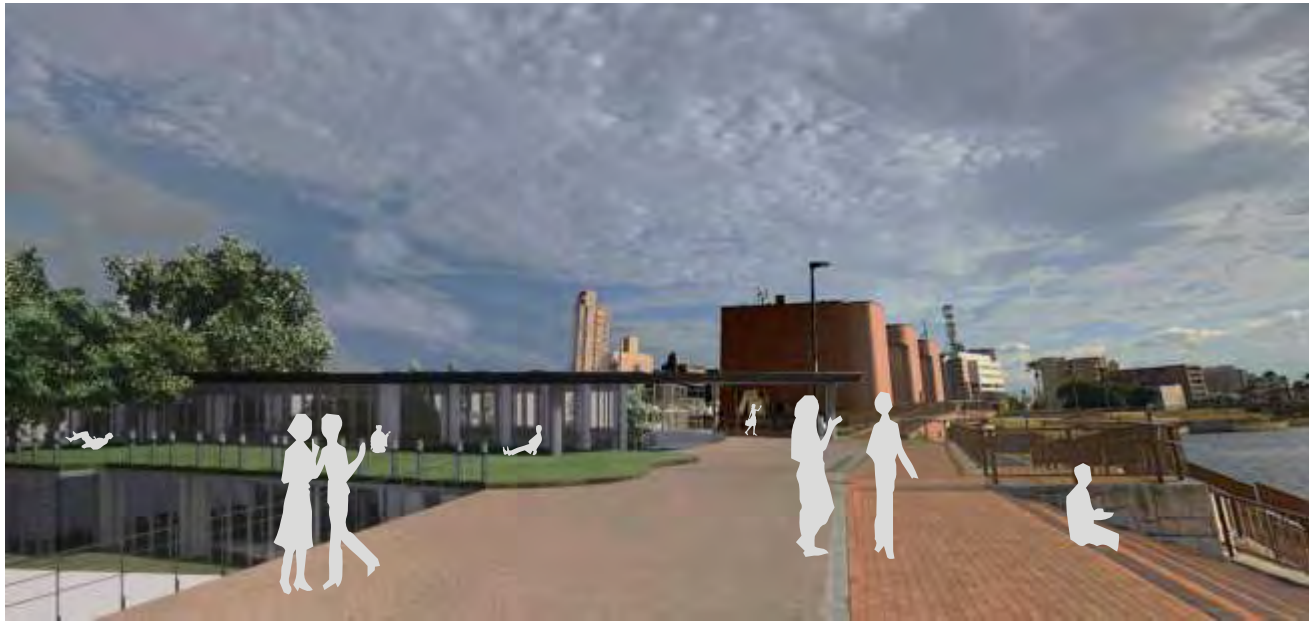
イメージ1：栽培管理の手間が省ける省力化ハンギング栽培システム。たくさんの花が空中に浮かび、空から花がふってきたような楽園を感じさせてくれる。

イメージ2：光・温度・養分等の生育環境をより高度に制御した最高の環境での生産システム。無農薬で、虫を寄せ付けない、低細菌の野菜を安定的に生産することができる。



南東側立面図

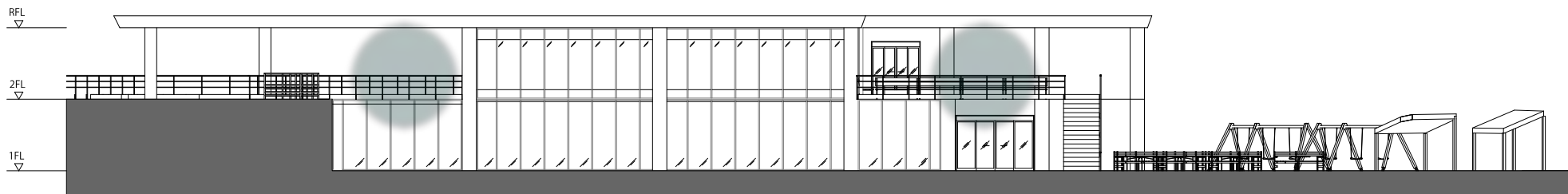
②連動感「屋外空間」：緑地広場では水耕栽培で採れた野菜や植物/地域の食物の、食べる場所という経験の他、販売所という経験を持ち帰る設備を設ける。



南西側立面図

② 連動感 「水平屋根」

：屋根を護岸部分まで伸ばすことで下へ降りることを誘導するようなエントランスを表現し、高低差による分断感を解消。



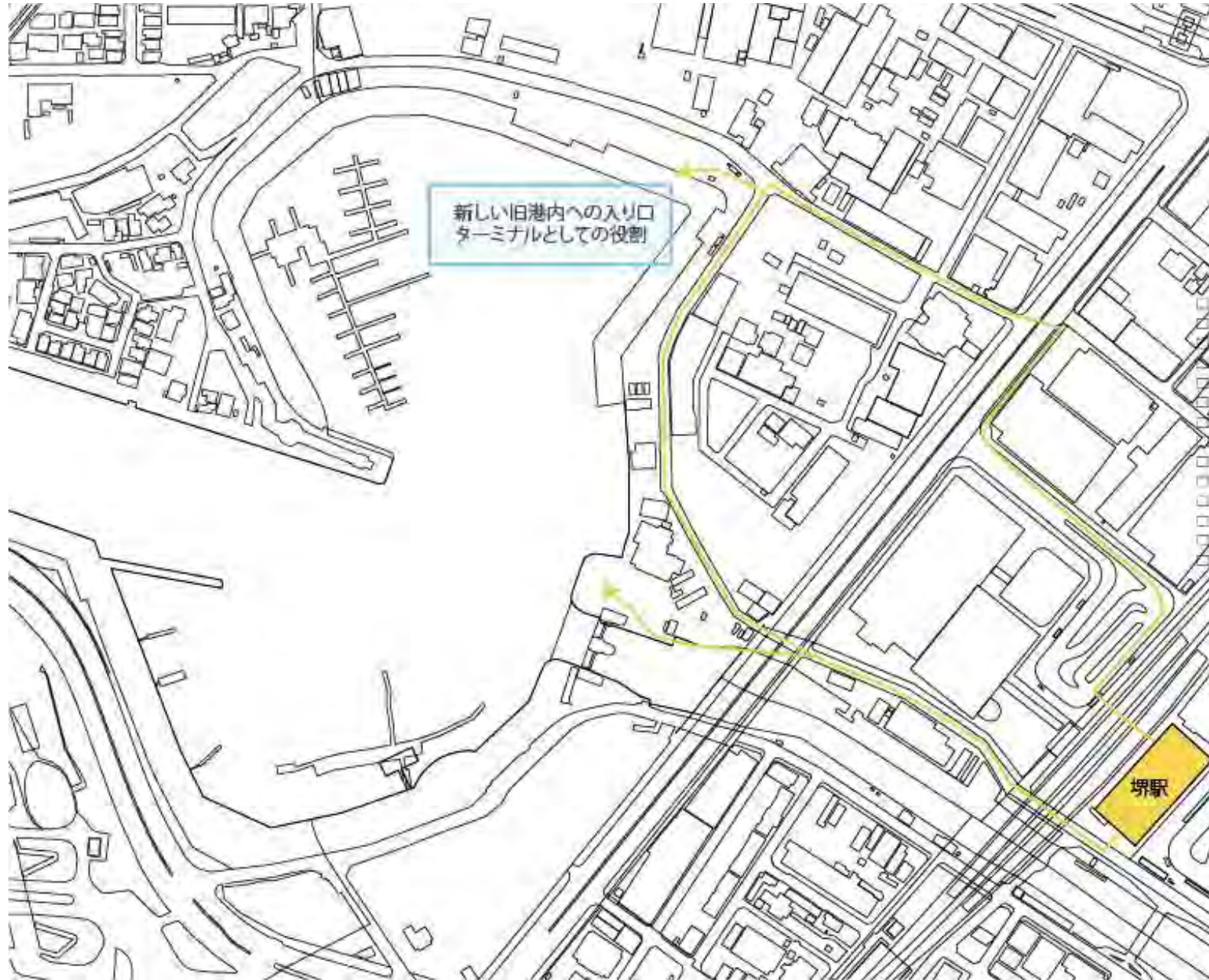
南西側立面図



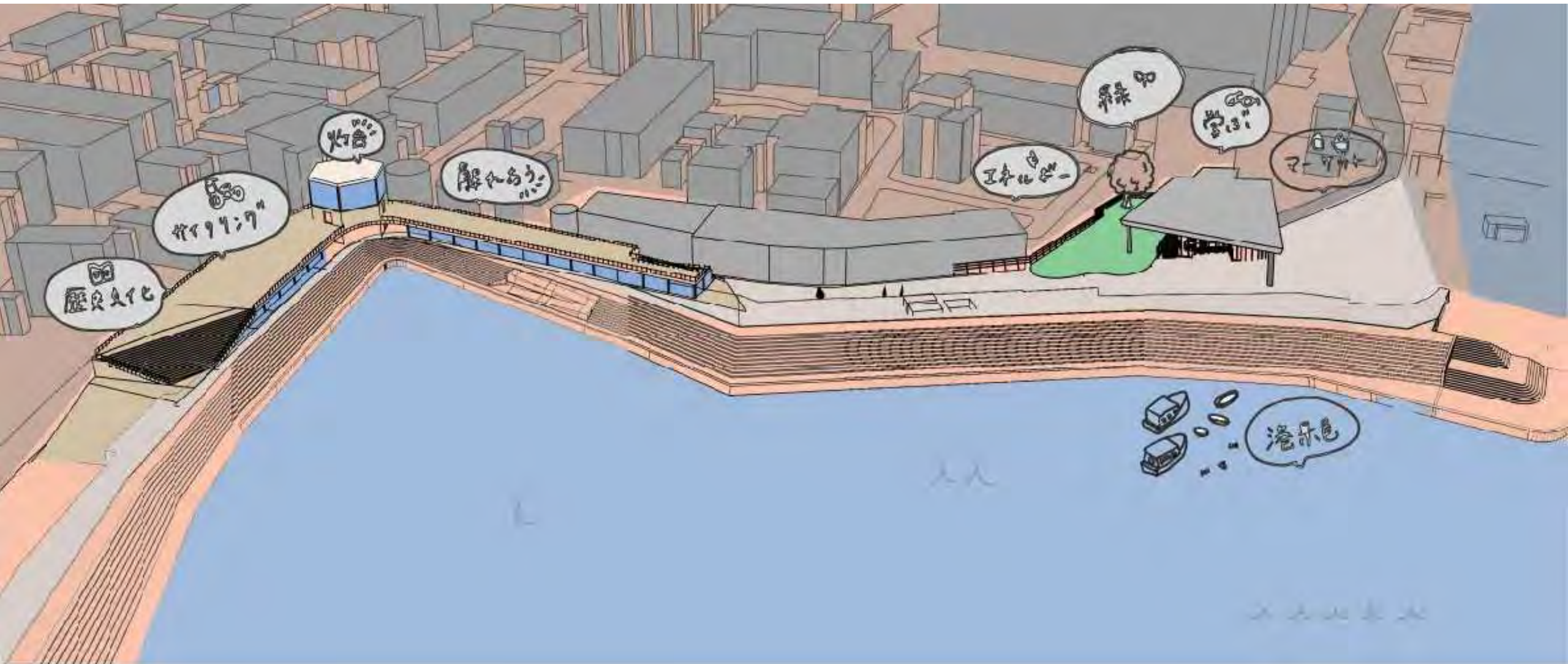
② 連動感「屋上庭園」

：1Fレベルの建物部分の屋根は屋上庭園として活用する。
これら緑地は建物内部からも視覚できるようになっており、緑の連結を内外でも表現。水平屋根同様護岸に一部はみ出るような庭園となっており一体感も表現。

堺駅からの動線



将来ビジョン



Water Side Base

~水辺から広がるにぎわい~

4班
内山 小森 佐藤 酒井 多田

目次

1 対象地の概要・現状

1.1 対象地の概要

1.2 対象地の弱み

1.3 対象地の強み

2 まちの将来像

2.1 コンセプト

2.2 用途地域の変更

3 土地利用配置図

4 提案内容

4.1 舟運

4.2 歩行者動線

4.3 堅川下水ポンプ場（拠点×待機所×カフェ）

4.4 コンテナハウス

5 まとめ

1 対象地の概要

対象地の概要・現状



- ・ 約2kmもある遊歩道
- ・ 大浜公園、天保山、U S J
- ・ サイクルルート、舟運

1 対象地の弱み

対象地の概要・現状



遊歩道が整備されている
が利用者が少ない



港が近くにあることが全く
感じられず知名度が低い



周辺に工場が多く、人
が立ち寄らない

1 対象地の強み

対象地の概要・現状



水辺に近い



夜景の美しさ



伝統産業

水上ツアーリズム

2.1 コンセプト

まちの将来像

①観光地としての堺



②舟運の活性化



③地域体験



④水辺利用の促進



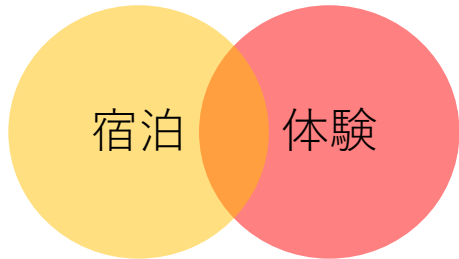
⑤芸術交流



2.1 コンセプト

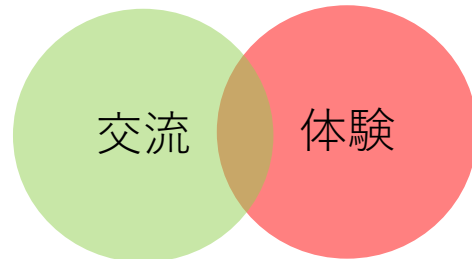
分散型ホテル

建物一つで完結するのではなく、機能を分散させ町を一つ宿と捉え地域を活性化させる



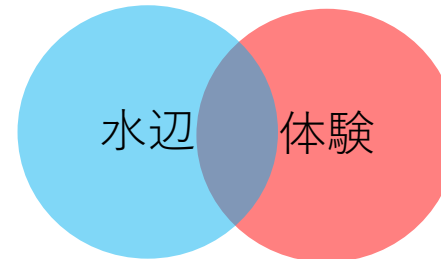
アート

堺旧港にアートを取り入れ、住民交流の場や体験・イベントの場を設ける



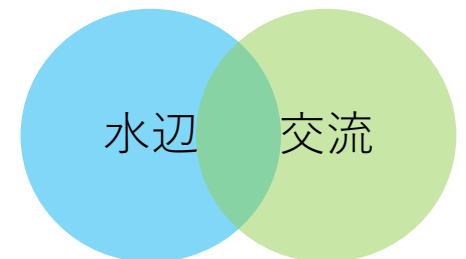
水上レジャー

SUPやボートなどのスポーツを取り入れ、人と水辺をより近づける



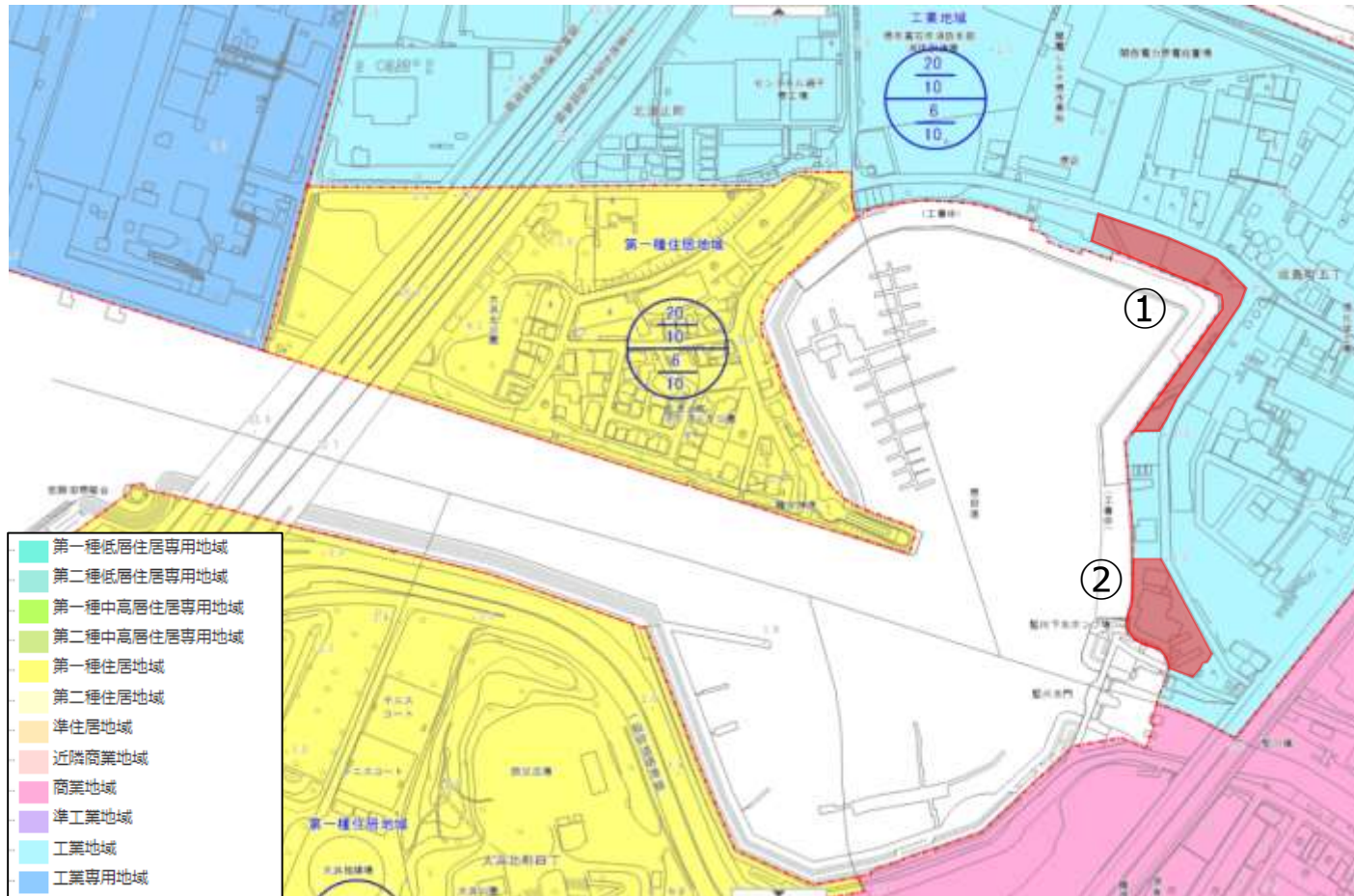
乗船場カフェ

舟運を活性化させ待ち時間を効果的に使える場所に



2.2 用途地域の変更

まちの将来像



土地番号	①	②
所有者	大阪府	堺市
用途地域	工業地域	工業地域
建ぺい率	60%	60%
容積率	200%	200%

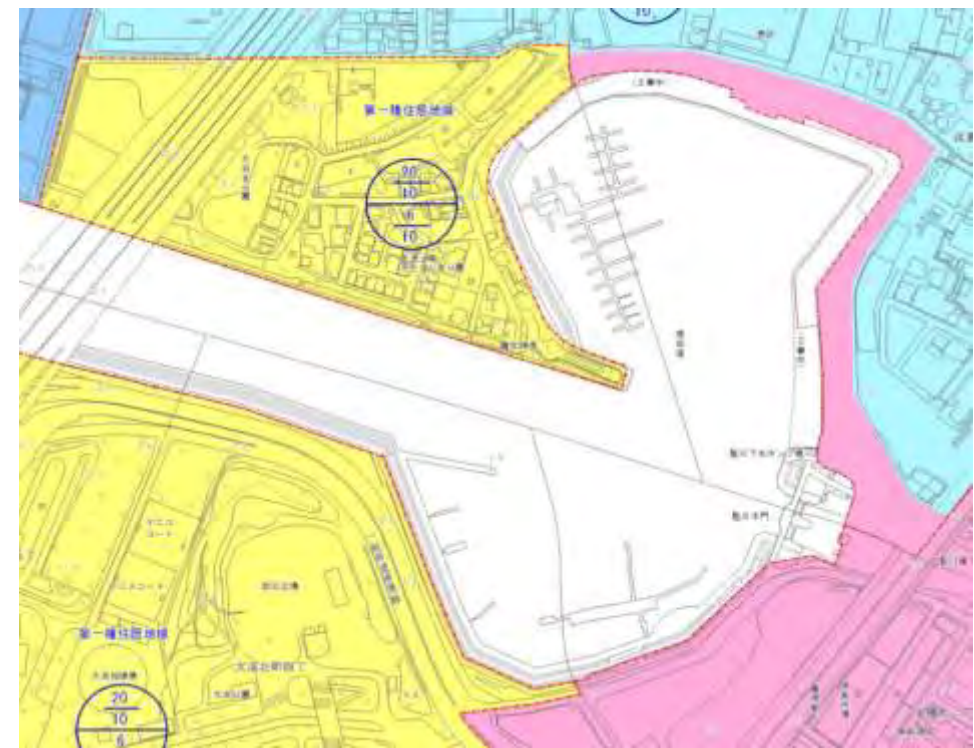
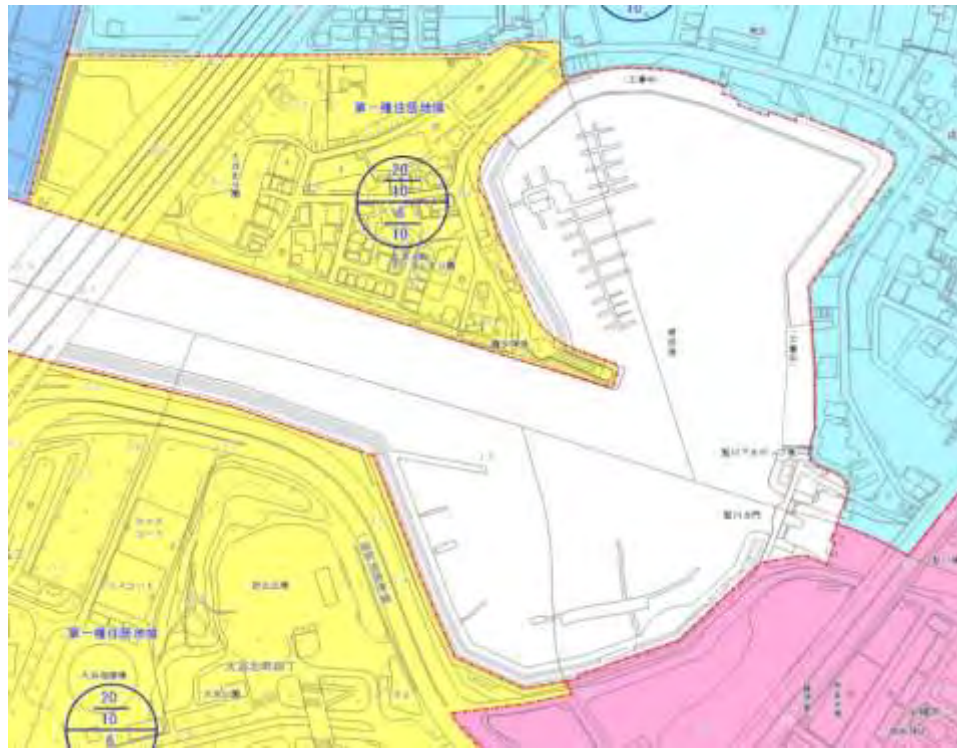
①、②はどちらも工業地域



宿泊施設が建設できない

2.2 用途地域の変更

まちの将来像



ポンプ場以北の護岸沿いを **工業地域** ⇒ **商業地域**へ

3 土地利用配置図



4.1 舟運

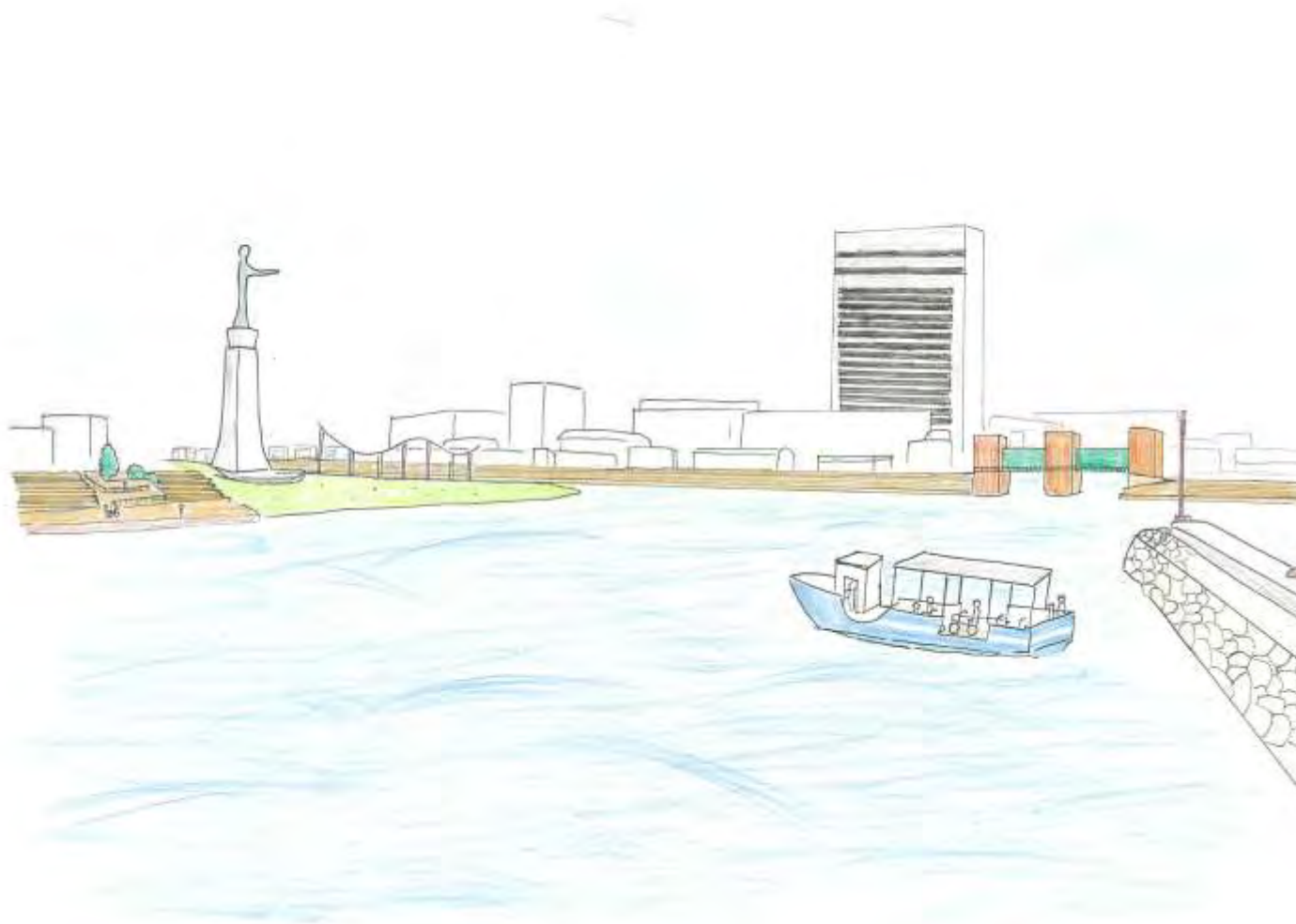


ルート1:夢洲・関西空港
堺旧港と夢洲・関西空港のルートを追加し、観光客を呼び込む



ルート2:工場・環濠
堺旧港から工場夜景を楽しむようなクルーズ環濠をSUPで走行できるように

4.1 舟運

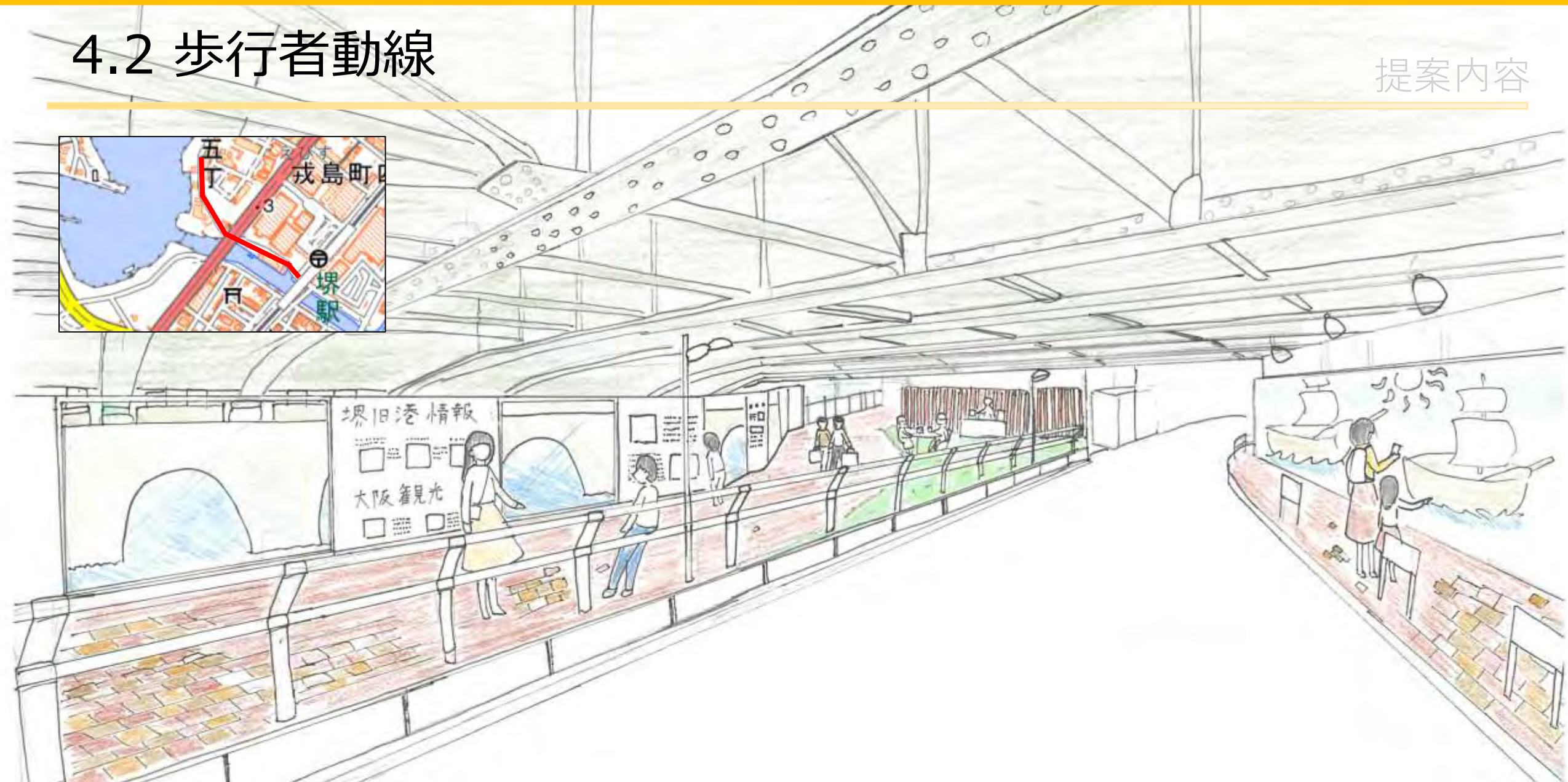


遊歩道に渡し船

対岸を繋ぐことで回遊性の向上を図る。

4.2 步行者動線

提案內容



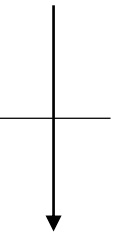
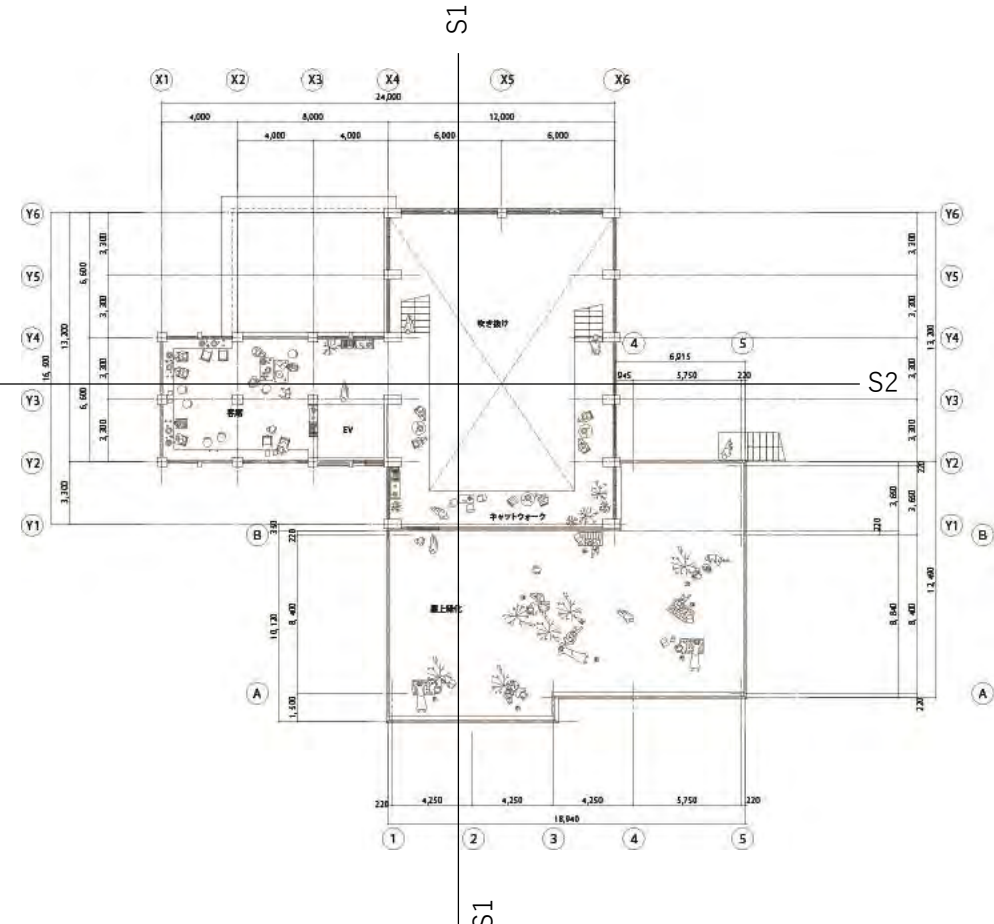
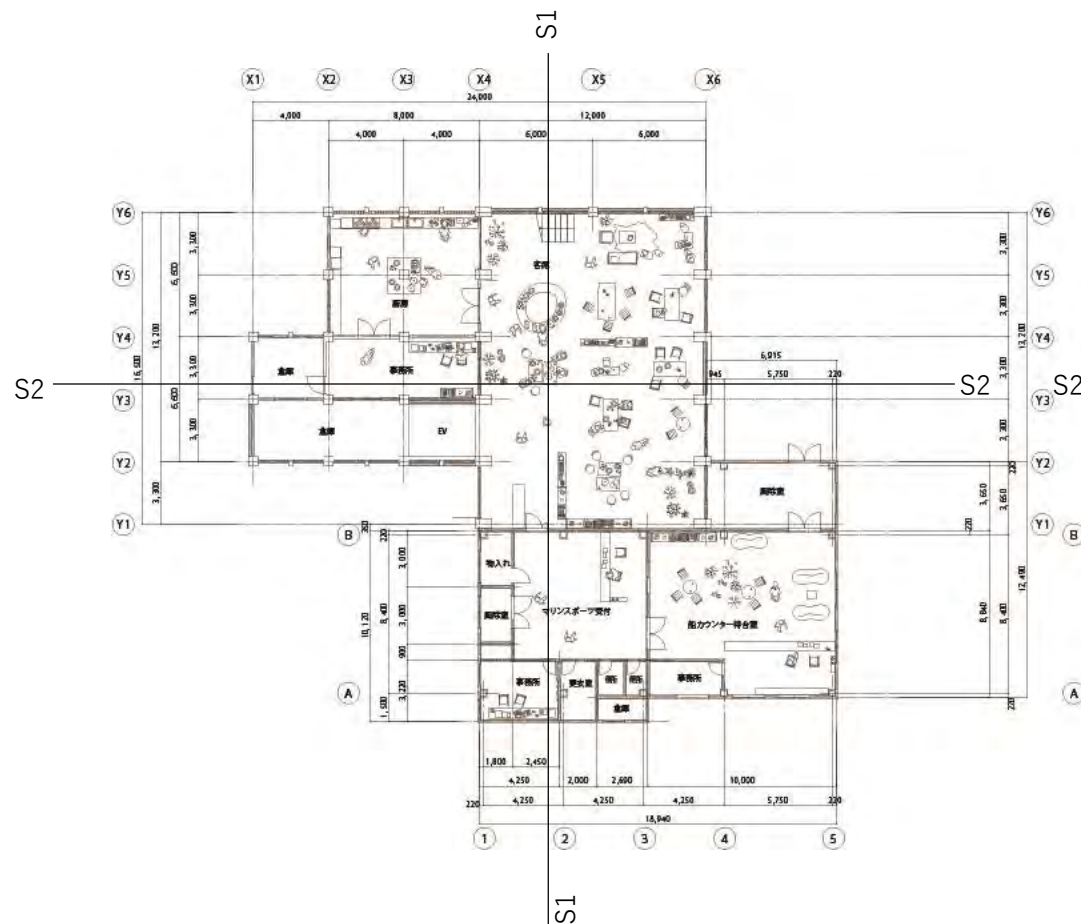
4.3 堅川下水ポンプ場（拠点×待機所×カフェ）

提案内容



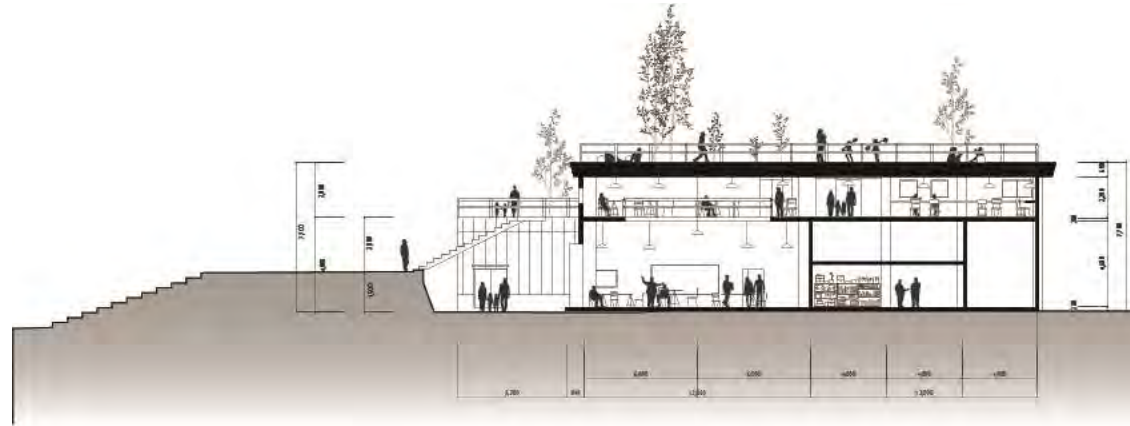
4.3 壑川下水ポンプ場 (拠点×待機所×カフェ)

提案内容

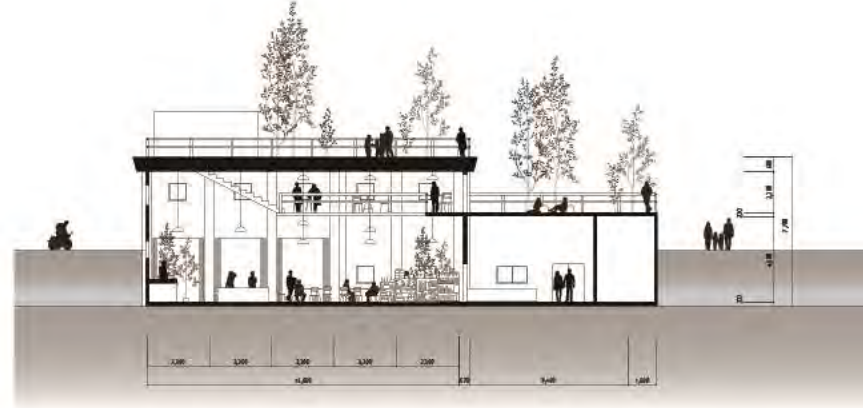


4.3 堅川下水ポンプ場（拠点×待機所×カフェ）

提案内容



S2断面図 s=1/200



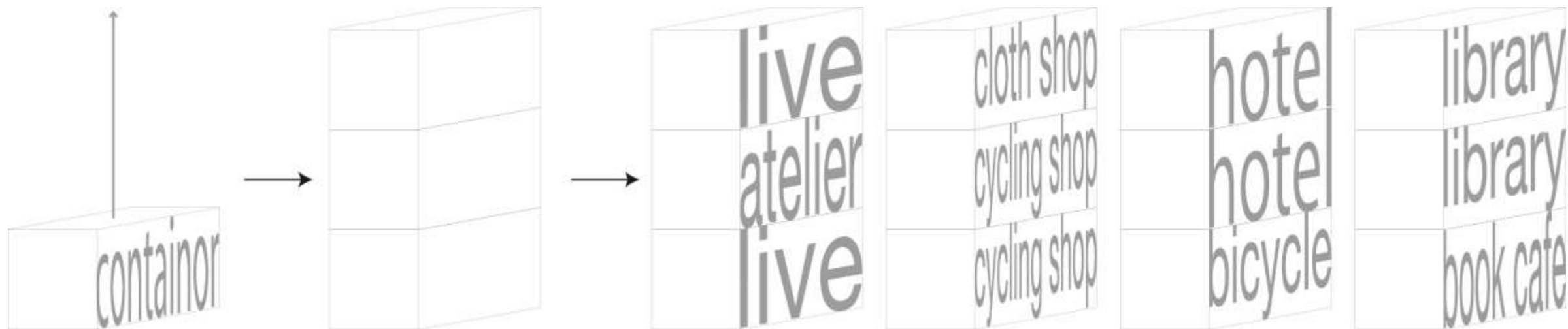
S1断面図 s=1/200

4.4 コンテナハウス

提案内容



4.4 コンテナハウス

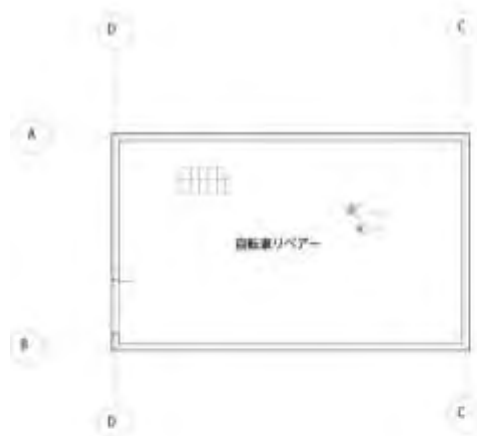


4.4 コンテナハウス

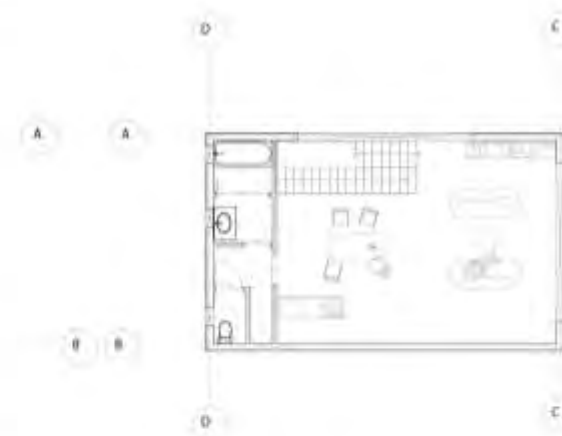
提案内容



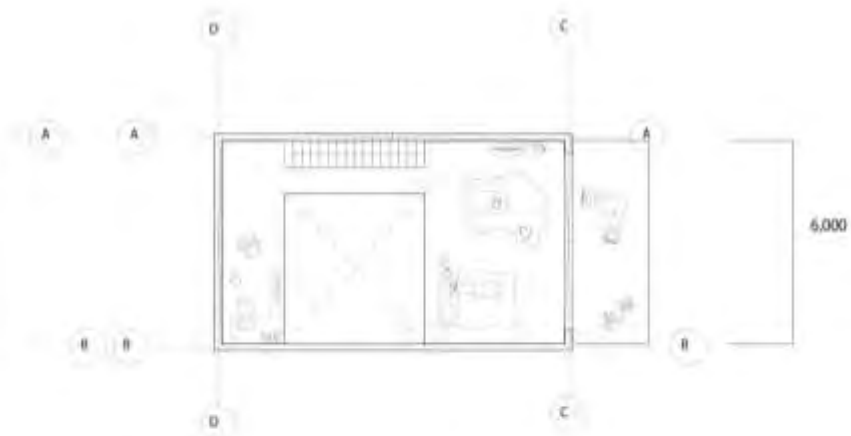
4.4 コンテナハウス



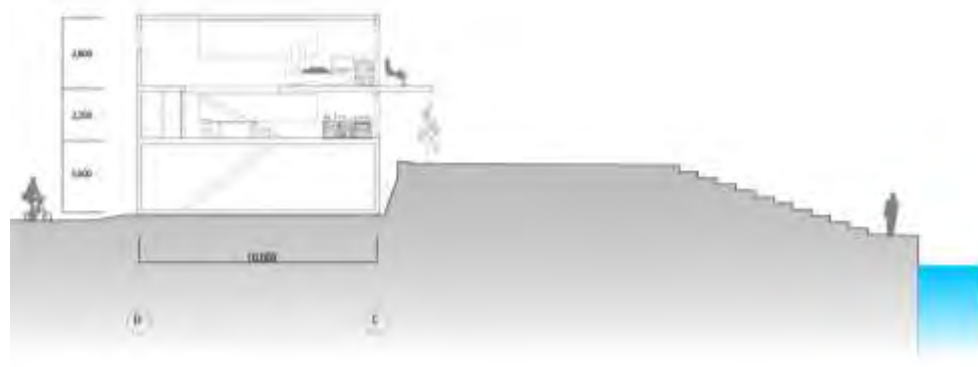
1F平面図 S=1/100



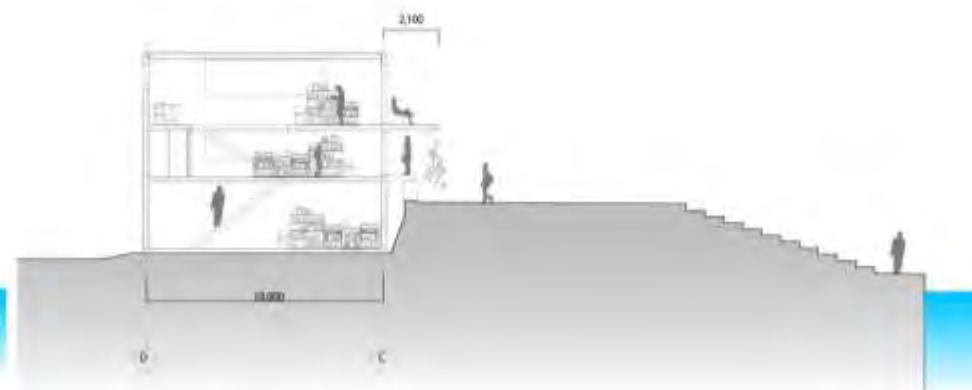
2F平面図 S=1/100



3F平面図 S=1/100



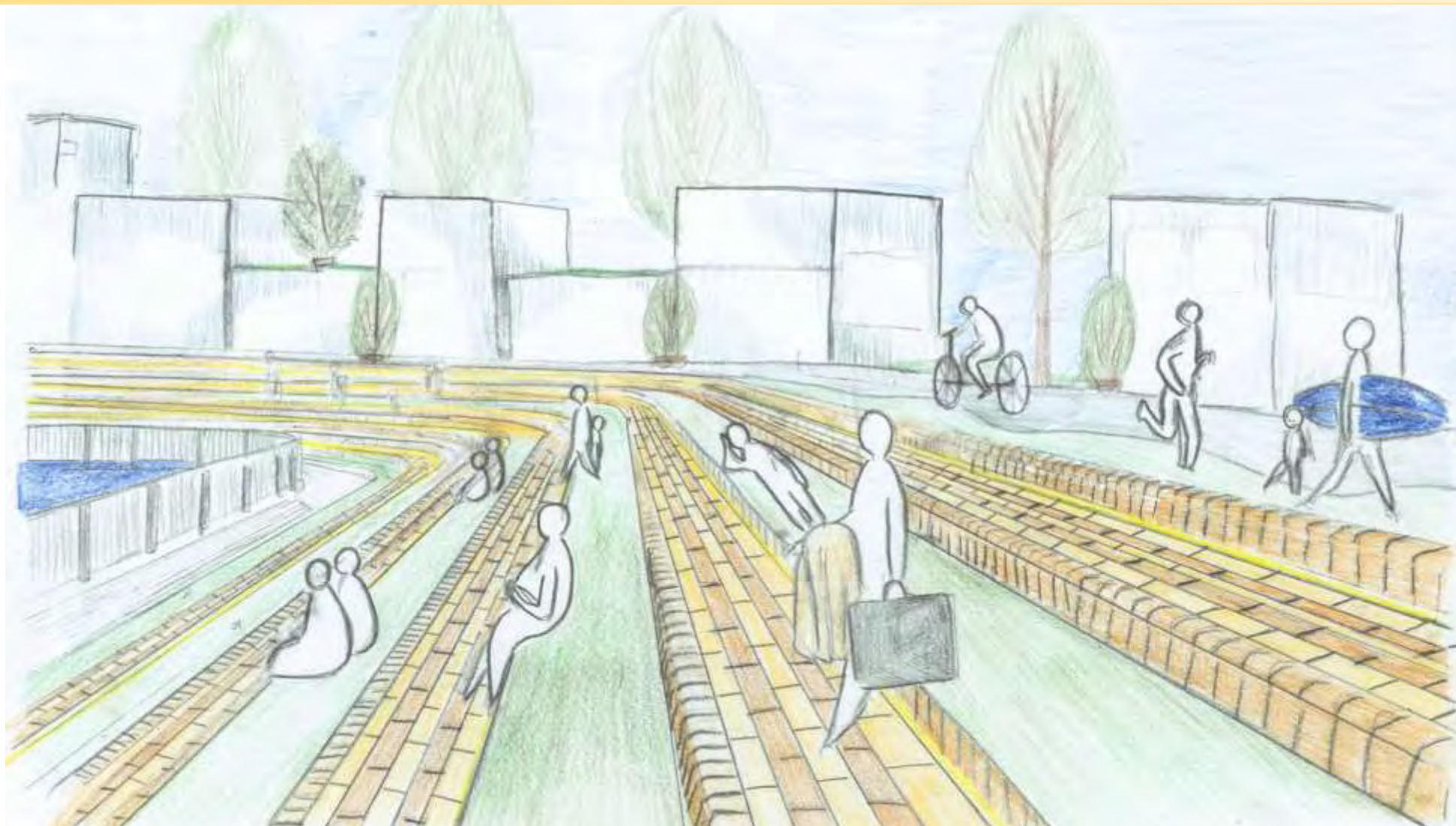
宿泊時断面図 S=1/100



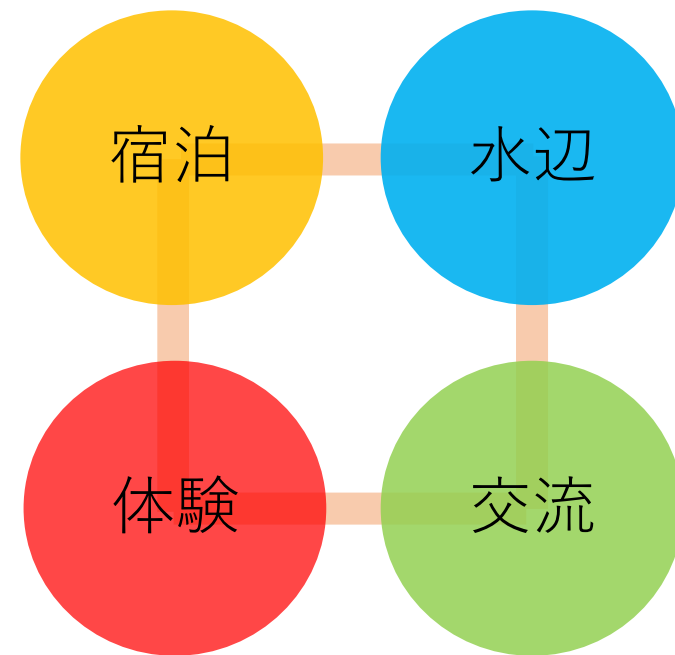
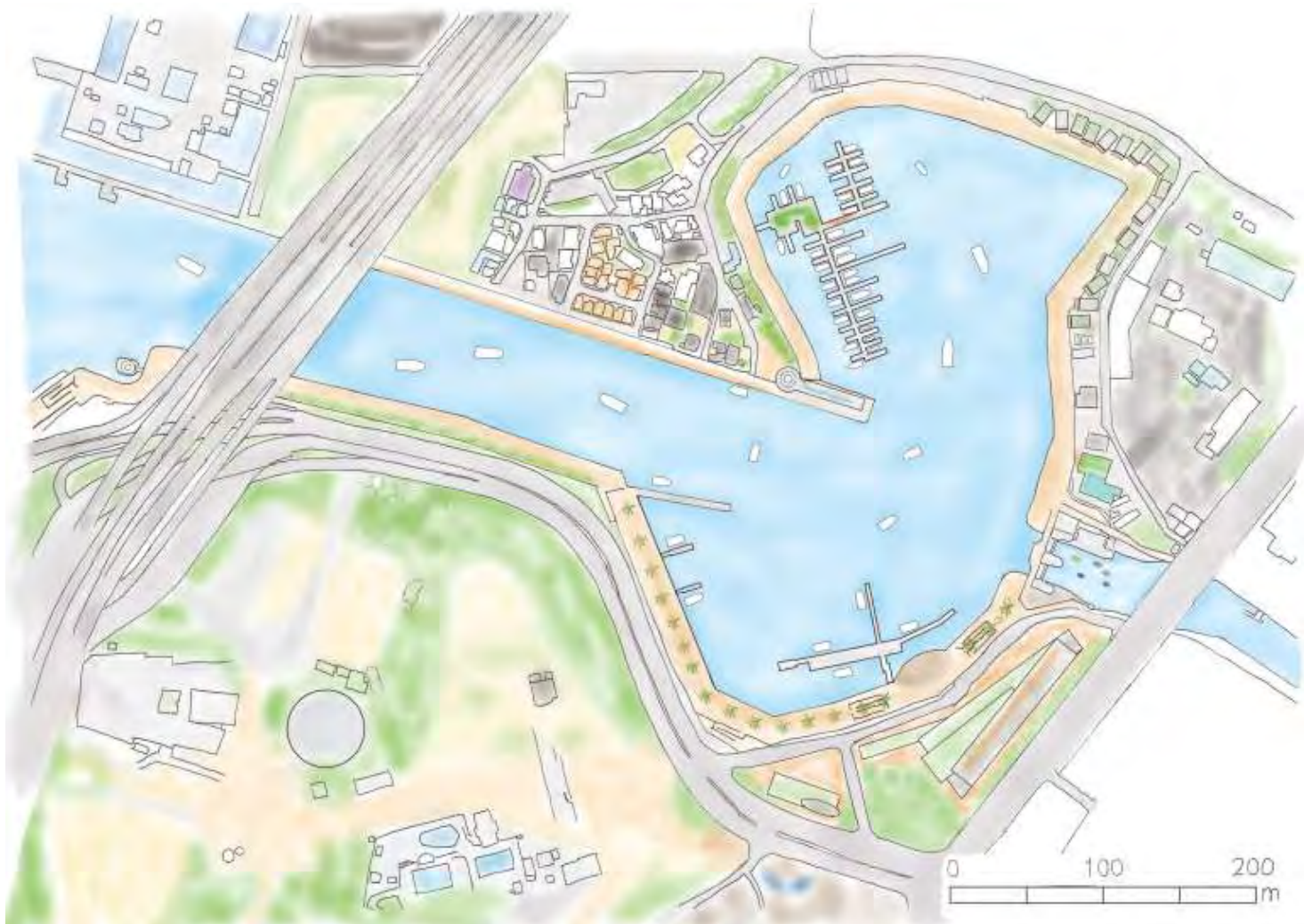
図書館時断面図 S=1/100

4.4 コンテナハウス

提案内容



5 まとめ



多種多様な賑わいの拡大

「SAKAI 堺・境・栄」

～境をなくし、堺で栄える～

5班

大橋克矢 清水康晶 竹田桃子 中井智仁 古川あかね

目次

1. 現地調査
2. 目標・目的
3. コンセプト
4. 提案
 - 4-1. 配置図
 - 4-2. 動線計画
 - 4-3. 北部（U字部分）
 - 4-4. 豎川下水ポンプ場
 - 4-5. 将来像

1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

1. 現地調査（課題）

【課題①】 利用者の数

臨海部という立地的ポテンシャル
を活かしきれていない



駅前には賑わっているが…

堺旧港に訪れる**目的がない**

利用者が少ない

隠れた魅力



1. 現地調査 (課題)

【課題②】 周辺地域を分断

道路/護岸が分断



周辺からのアクセスが悪い
境目となっている



1. 現地調査 (強み)

【強み①】 堺の歴史

歴史ある港



所々にその名残



1. 現地調査（強み）

【強み①】 堺の歴史

旧市街地周辺地域



まちの歴史・文化を活かした魅力創出*

広い範囲に歴史が点在

* 堺都心のまちづくりプランより



1. 現地調査 (強み)

【強み②】 自転車

多くの自転車利用者

「自転車のまち堺」として
進められる自転車まちづくり



1. 現地調査 (強み)

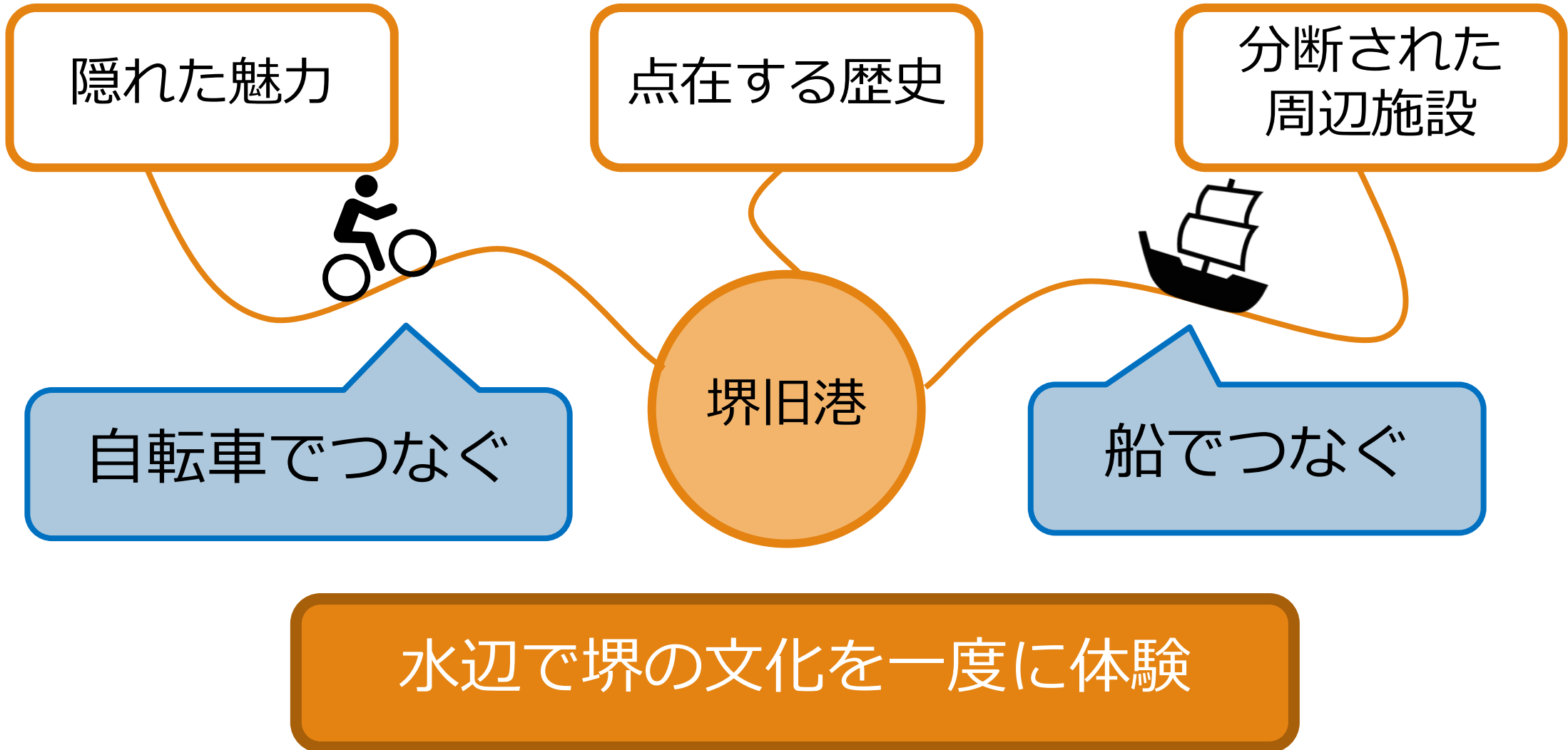
【強み③】 周辺施設

周辺に大型集客施設

- ・ 大浜公園
- ・ ラウンドワンスタジアム堺駅前店



1. 現地調査



1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

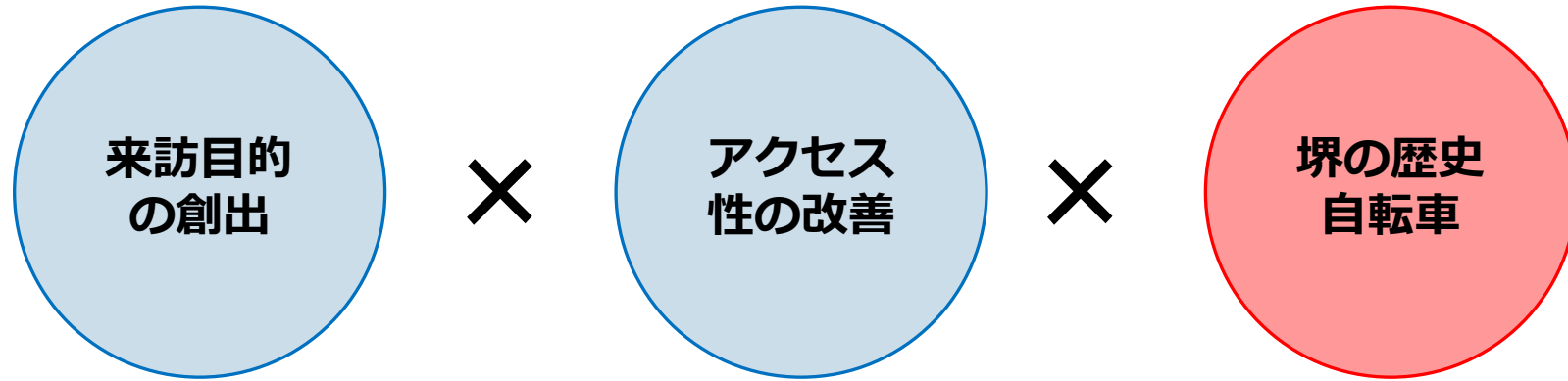
4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

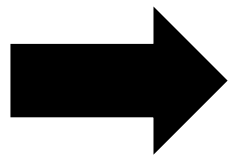
2. 目標・目的



=

歴史を受け継ぎ、人が集まる場所にする

目的



歴史を守り育み新たな魅力を創造する
(堺都心のまちづくりプラン 基本方針3)

目標

1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

3. コンセプト

「SAKAI 堺・境・栄」
～境をなくし、堺で栄える～

3. コンセプト



1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

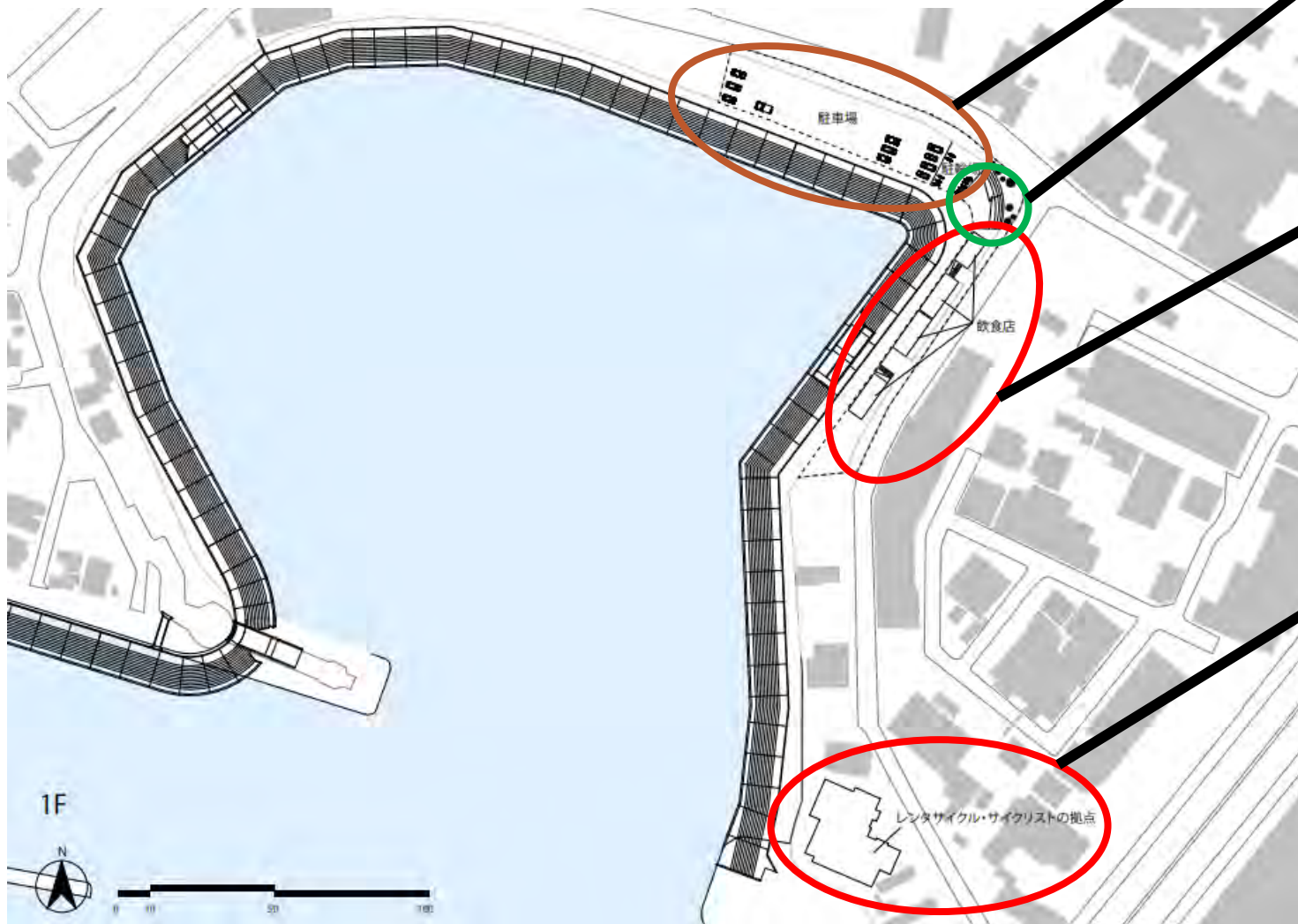
4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

4-1. 配置図 (1F)



駐車場・駐輪場

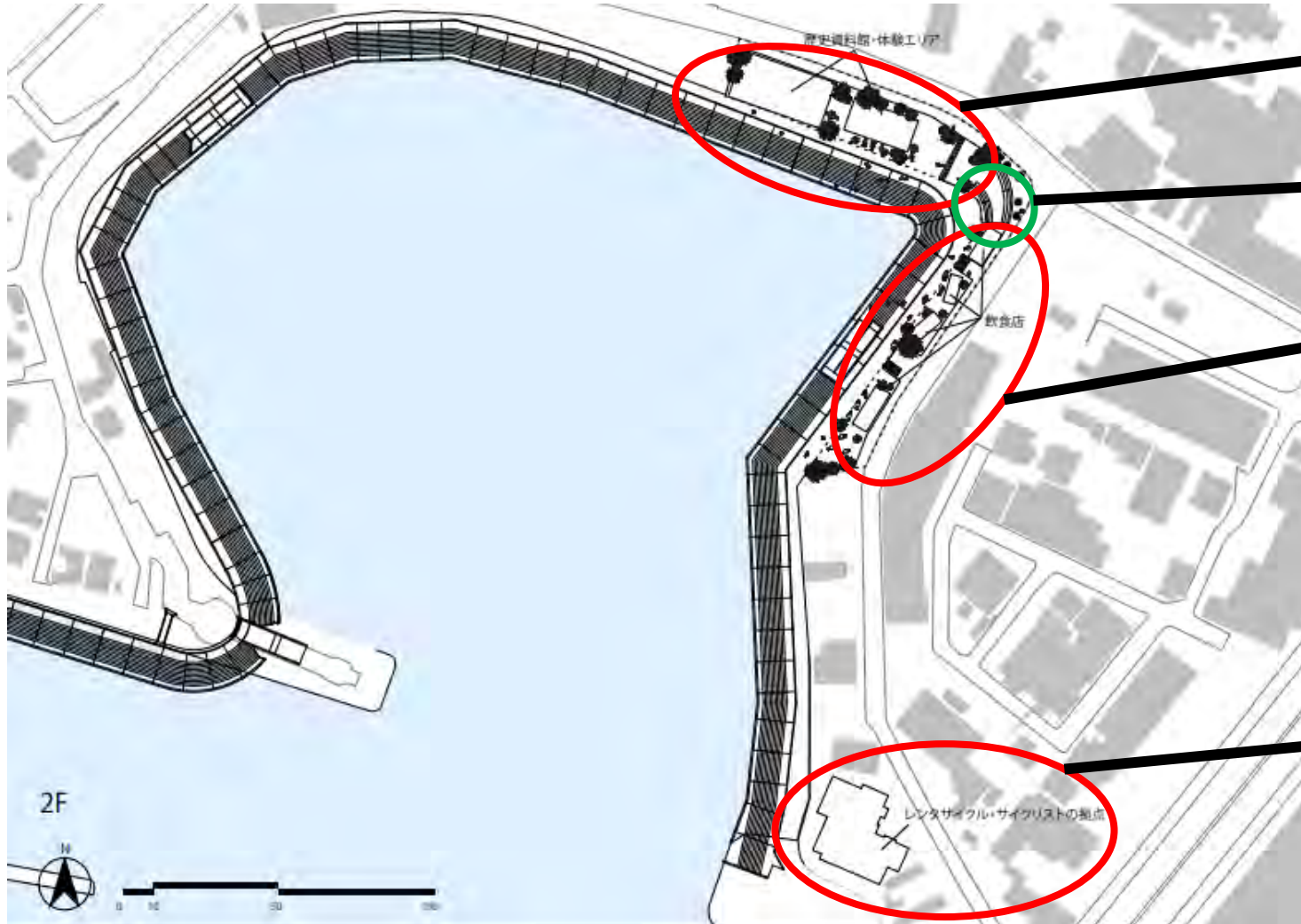
広場空間

飲食店

レンタサイクル・サイクリストの拠点



4-1. 配置図 (2F)



歴史資料館・体験エリア

広場空間

飲食店



レンタサイクル・サイクリストの拠点

1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

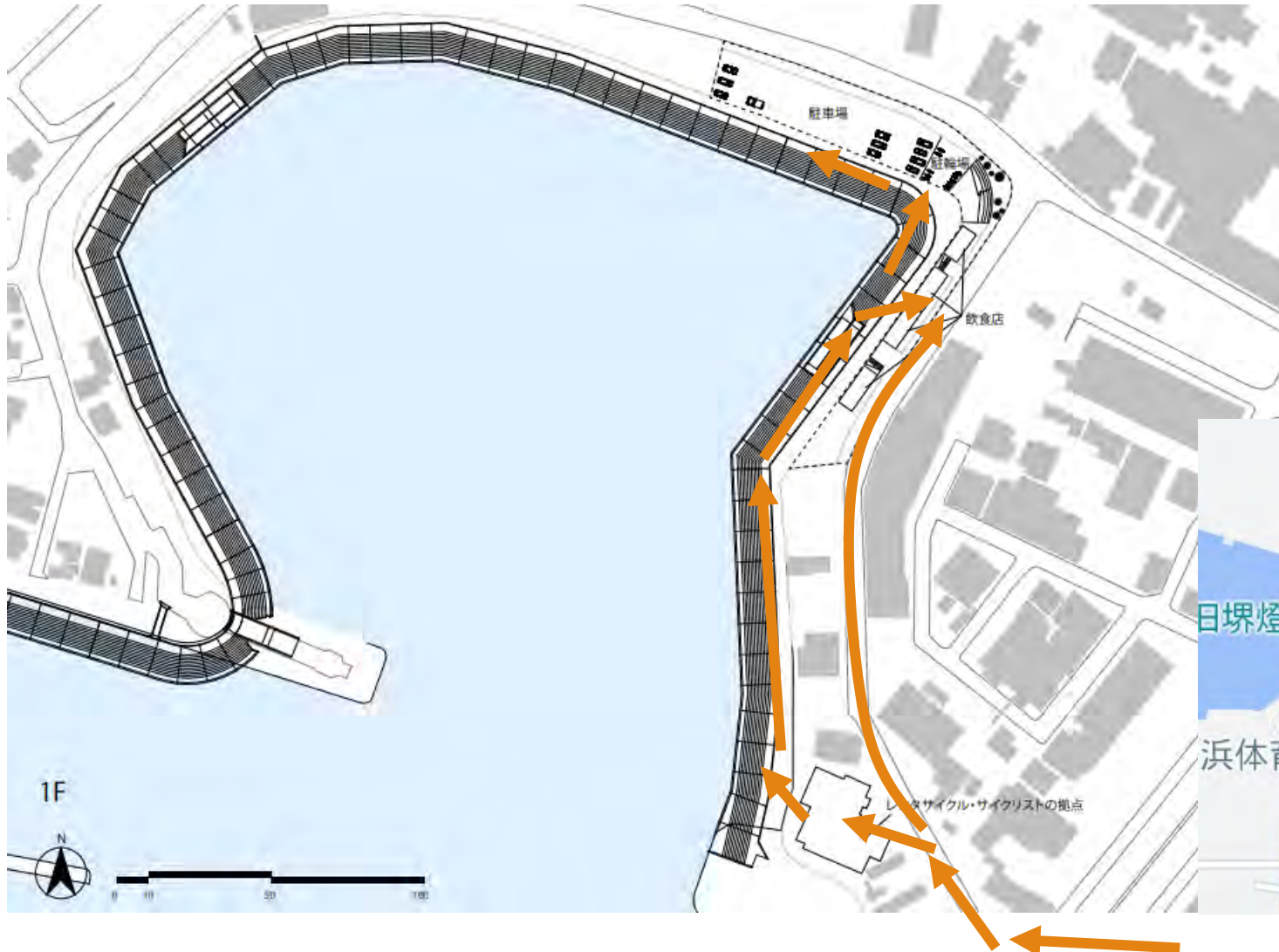
4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

4-2. 動線計画①

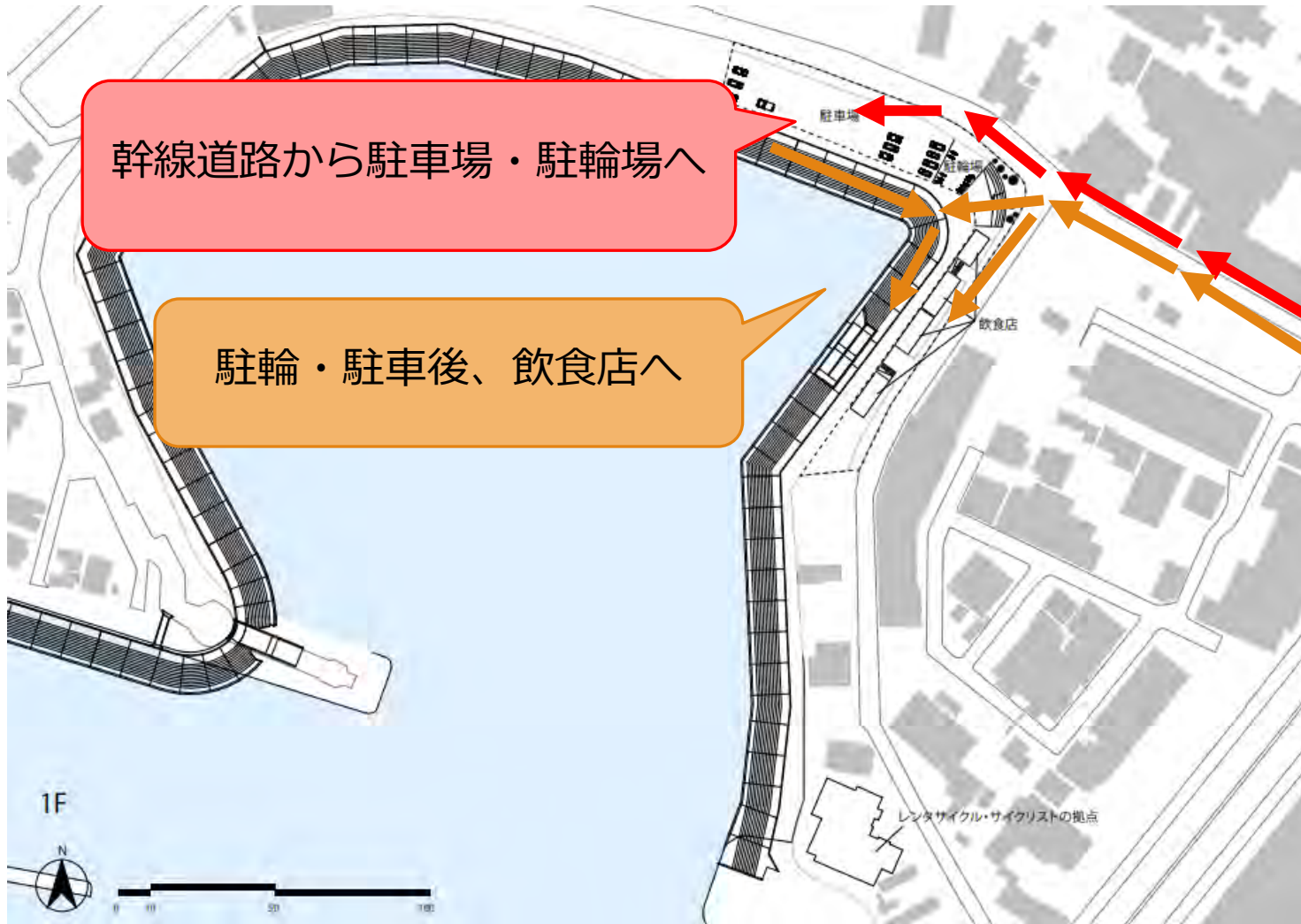


駅 ⇒ 堺旧港

→ 歩行者



4-2. 動線計画②



幹線道路 ⇒ 堺旧港

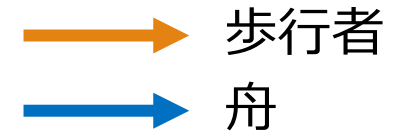
→ 自動車・自転車

→ 歩行者

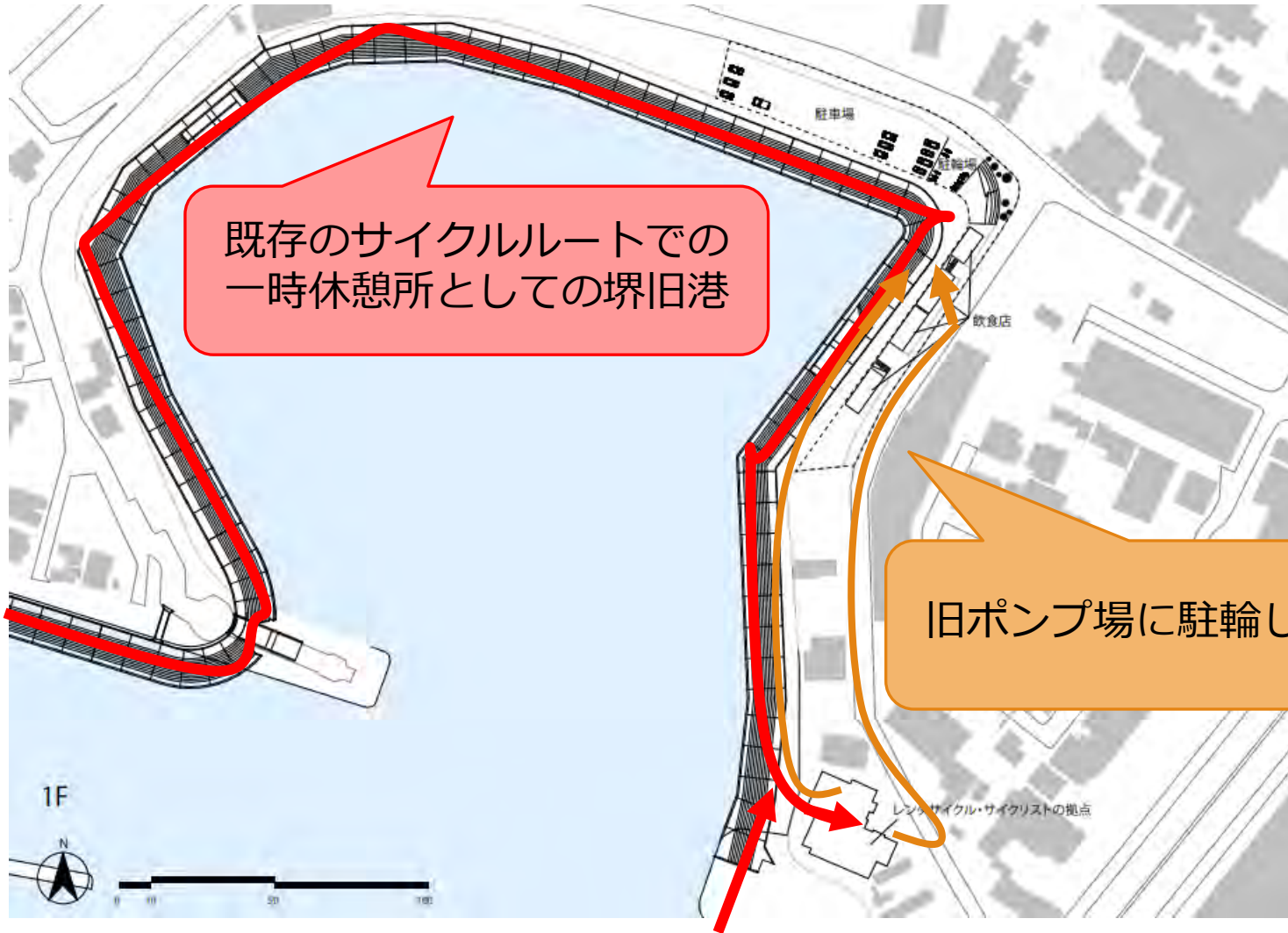
4-2. 動線計画③



堺旧港 ⇒ 東部（旧市街地周辺）



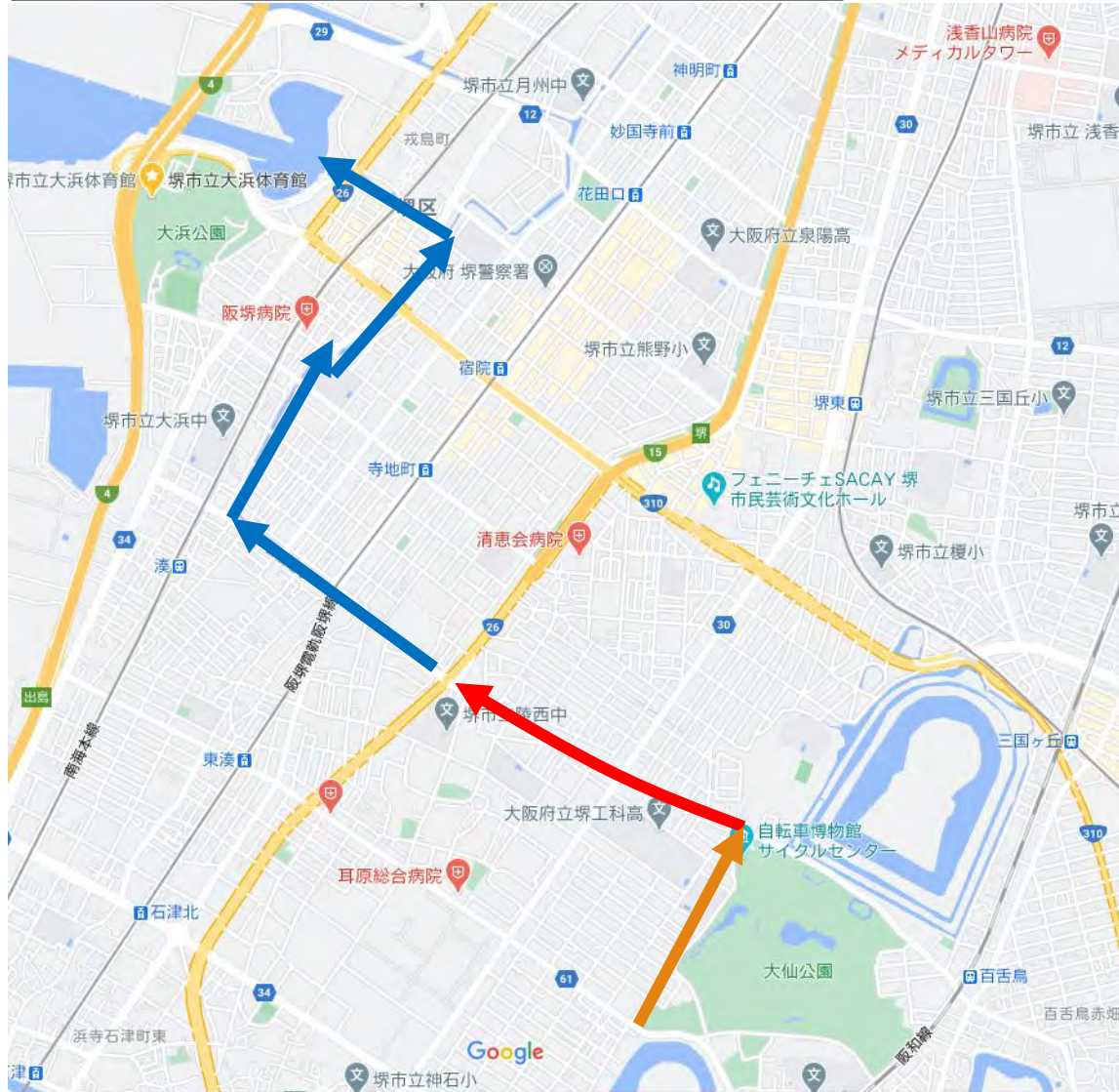
4-2. 動線計画④



自転車利用者 ⇒ 堺旧港

→ 自転車
→ 歩行者

4-2. 動線計画⑤



堺市博物館 ⇒ 堺旧港

- 自転車
- 歩行者
- 舟

1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

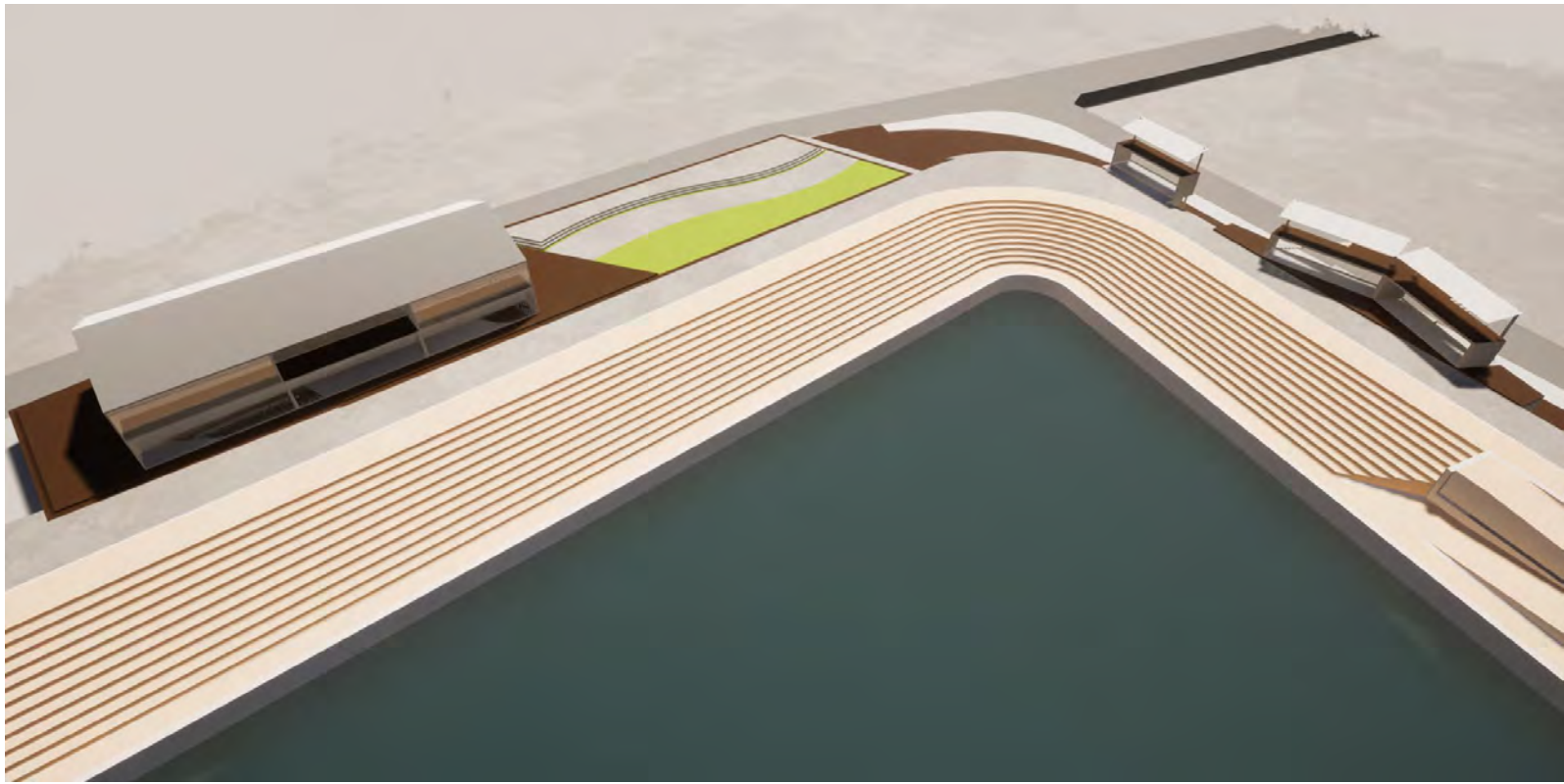
4-5. 将来像



4-3. 北部 (U字部分)

階数：2階

機能：飲食店・広場スペース・駐車場・駐輪場・歴史資料館・体験エリア



4-3. 北部 (U字部分) 1F



【駐車場】

幹線道路からの利用者を想定

【駐輪場】

【広場スペース】

護岸と東側の道路をシームレスにつなぐ
工場勤務の人等の休憩場所

【飲食店、ギャラリー】

テイクアウト可能な飲食店、
射的バー、壁面ギャラリー



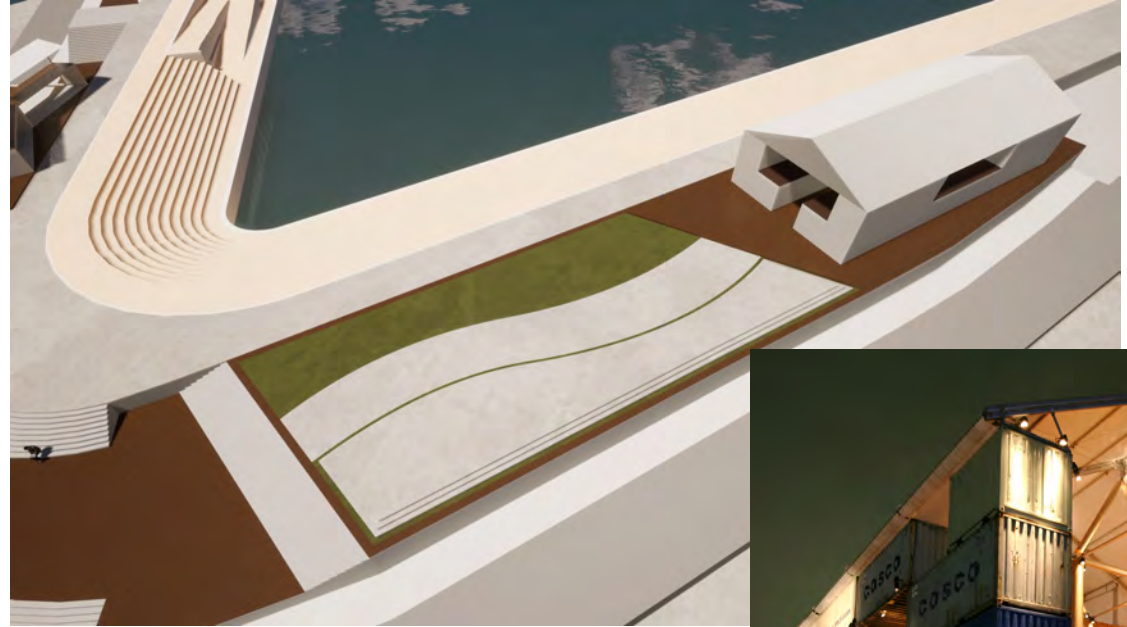
4-3. 北部 (U字部分) 2F



【歴史資料館・体験エリア】

堺の歴史を展示・体験できる施設

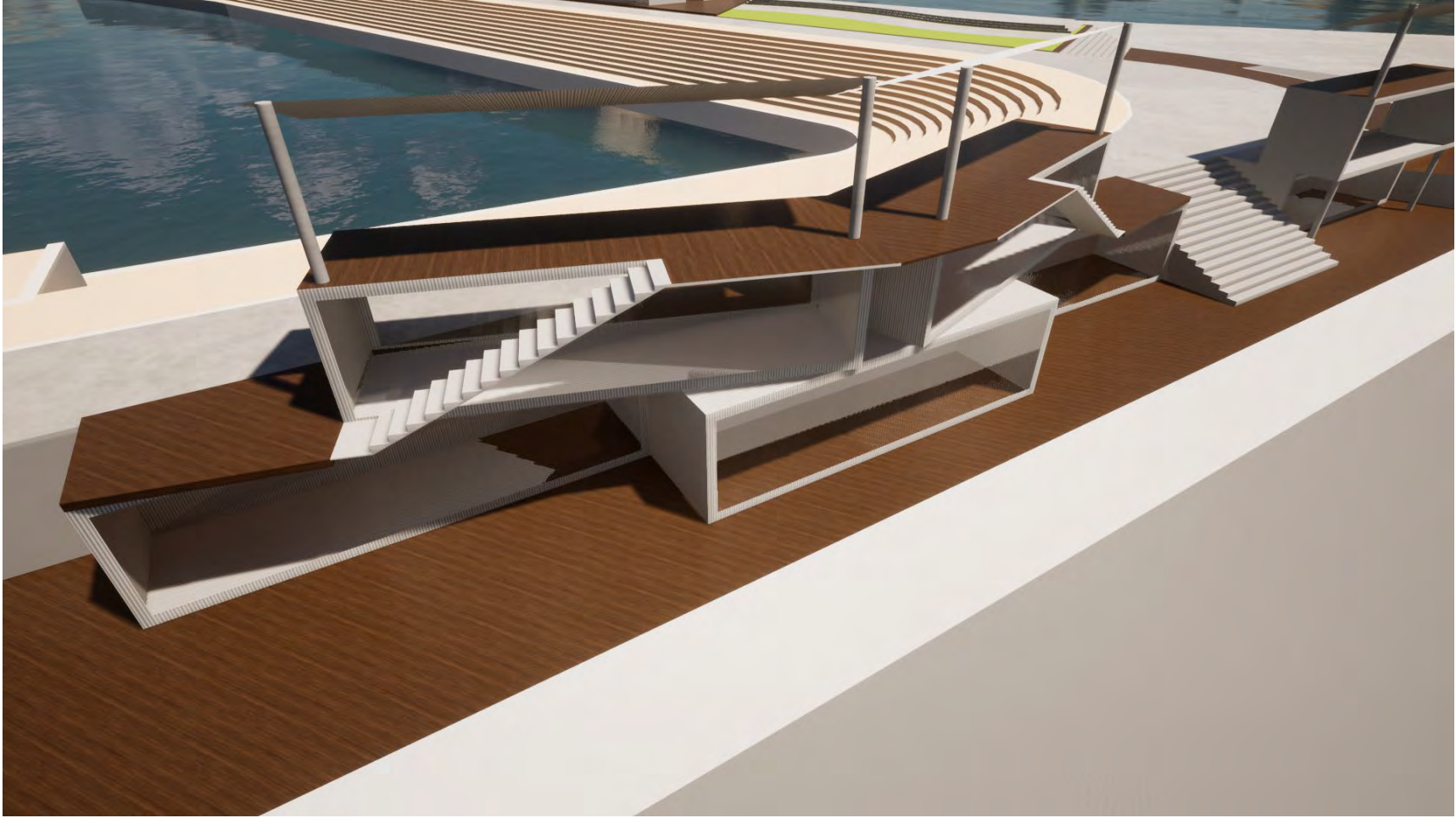
Ex) 体験プログラム (線香・刃物・自転車等)、
堺旧港の歴史のVR、歴史品の展示





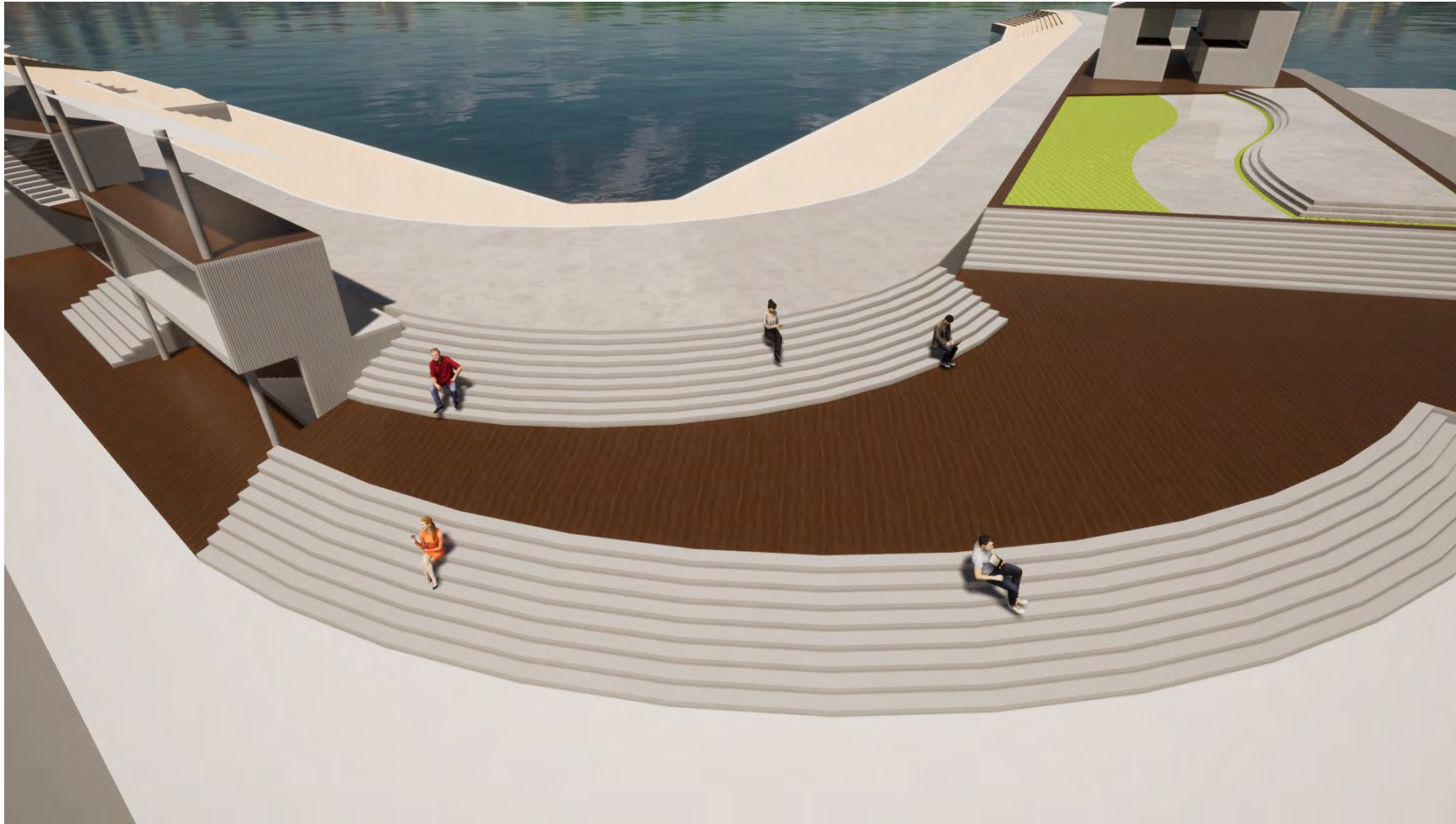
4-3. 北部 (U字部分)

【飲食店、ギャラリー】
テイクアウト可能な飲食店、
射的バー、壁面ギャラリー

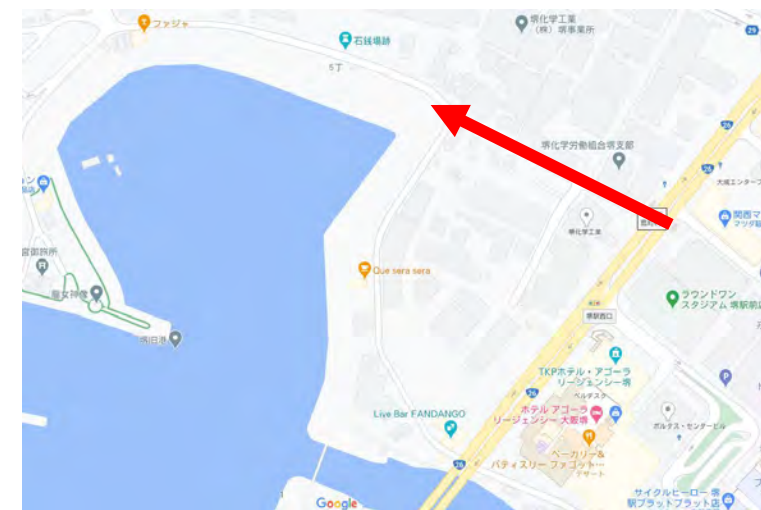




4-3. 北部 (U字部分)



【広場スペース】
護岸と東側の道路を
シームレスにつなぐ
工場勤務の人等の休憩場所



1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

4-2. 動線計画

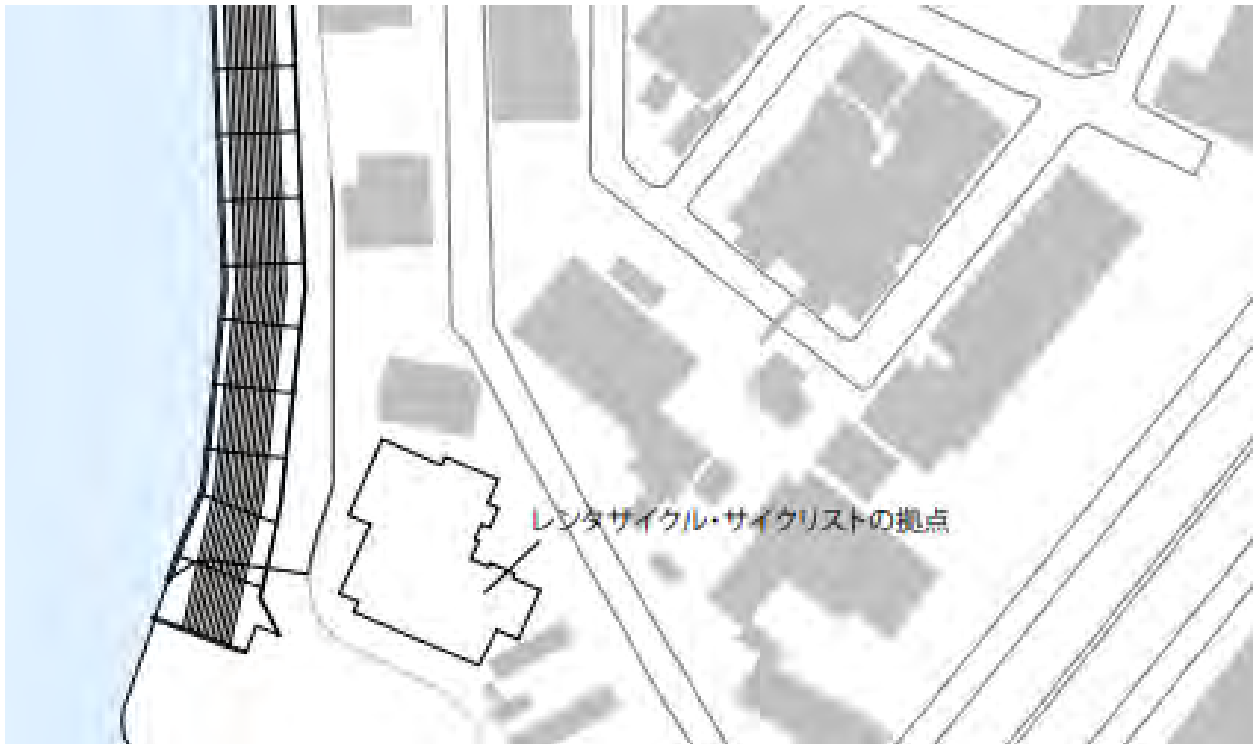
4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

4-5. 将来像

4-4. 豎川下水ポンプ場

【レンタサイクル・サイクリストのための施設】



～機能～

1F：受付・駐輪場・サイクルポート
シャワールーム・休憩スペース

2F：飲食スペース

既存のシャワールーム・キッチンを再利用

1. 現地調査

2. 目標・目的

3. コンセプト

4. 提案

4-1. 配置図

4-2. 動線計画

4-3. 北部（U字部分）

4-4. 豎川下水ポンプ場

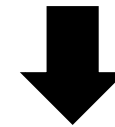
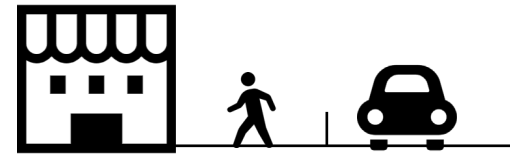
4-5. 将来像

4-5. 将来像



① 飲食店街を対象地南部にも拡大

② 飲食店街の拡大に沿って
道路を歩行空間化



まとめ

目標：歴史を受け継ぎ、人が集まる場所にする

目的：歴史を守り育み新たな魅力を創造する

コンセプト：「**SAKAI 堺・境・栄**」 ～境をなくし、堺で栄える～

提案（北部）：[1F] 駐車場, 駐輪場, 広場スペース, 飲食店

[2F] 歴史資料館・体験エリア, 広場スペース, 飲食店

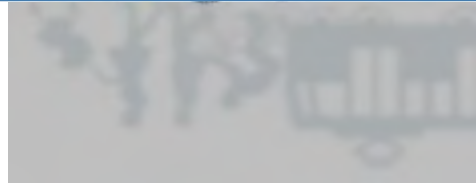
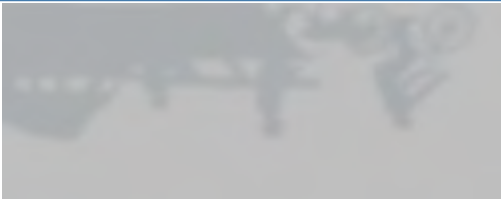
提案（豎川下水ポンプ場）：レンタサイクル・サイクリストのための施設
としてリノベーション

将来像：飲食店横の道路を歩行空間化, 飲食店街を拡大

ご清聴ありがとうございました

交わり続ける

寄りつき場



2020/12/19 6班
日本都市計画学会関西支部 学生WS

目次



- 目指すイメージ、コンセプト
- サカイコ（府有地の活用）
- 駅からのアプローチ
- Sakycle Port（ポンプ場の活用）



寄り道って楽しくない？

寄り道できるからこそ賑わう

寄り道できるからこそ交わる

寄り道できるからこそ発見できる

寄り道のポテンシャルを最大限に発揮できる場を目指す



目指すイメージ（対象地の概要）

- 都が大阪から京都や奈良へ移された後も、都への玄関口となり人々が「**寄る場**」として栄え続けた。
- 中世に日明貿易・南蛮貿易を行い、国際貿易都市として確立し、自転車や鉄砲などが持ち込まれ、堺独自に進化していった。
- 商業に関わる労働者・建物・行事も多く、堺の人のみならず、海外からも人が集まり最も繁栄を極めた。



泉州堺湊新地繁栄之図
1836年以降



堺市図
モンタヌス日本誌

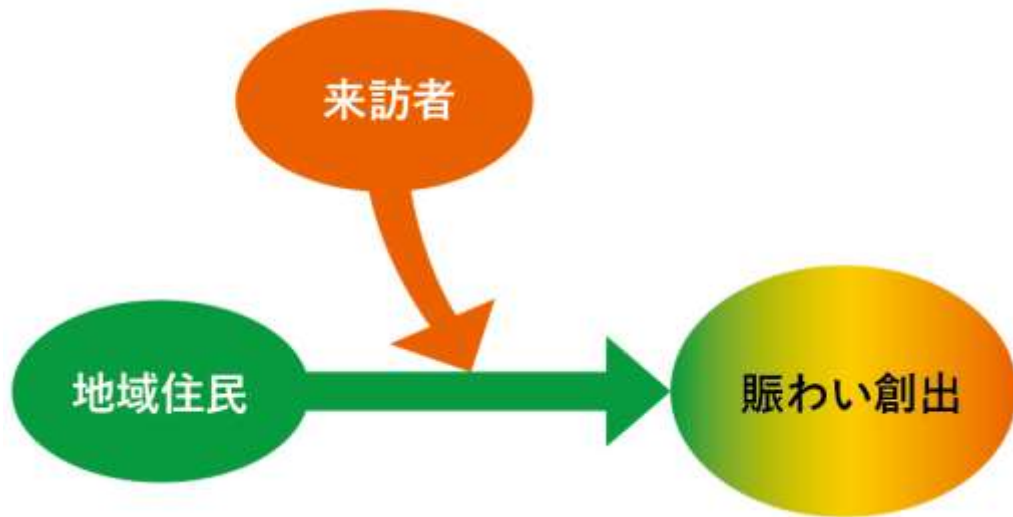
コンセプト — 寄り道によって期待できる効果 —



かつて堺旧港が一大貿易港であった頃のように、そこに住む地域住民と、寄り道をして来た来訪者が交わることで賑わいが生まれ、活性化する。



外から見ることによって
内の魅力が再発見される



堺の文化や街並み + α → 旧港周辺一帯の魅力

環濠都市の雰囲気を感じる外観

「堺環濠都市北部地区まちなみガイドライン」を参考し施設外観を決定。

■長屋

町家は、大きく、戸建てと長屋に分けることができます。長屋は、複数の町家が水平方向に連なり、地を共有して建てられているものを指します。堺町家では、主に、つし二階町家や前二階町家の形式で見られます。



長屋の例

<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/toshikeikan/keikantorikumi/matina/misaisei/shukei-hojo-seido.files/machinami-guideline-new.pdf>

暖簾・のぼり旗による一体感の創出



堺の伝統産業の一つである注染和晒を使用

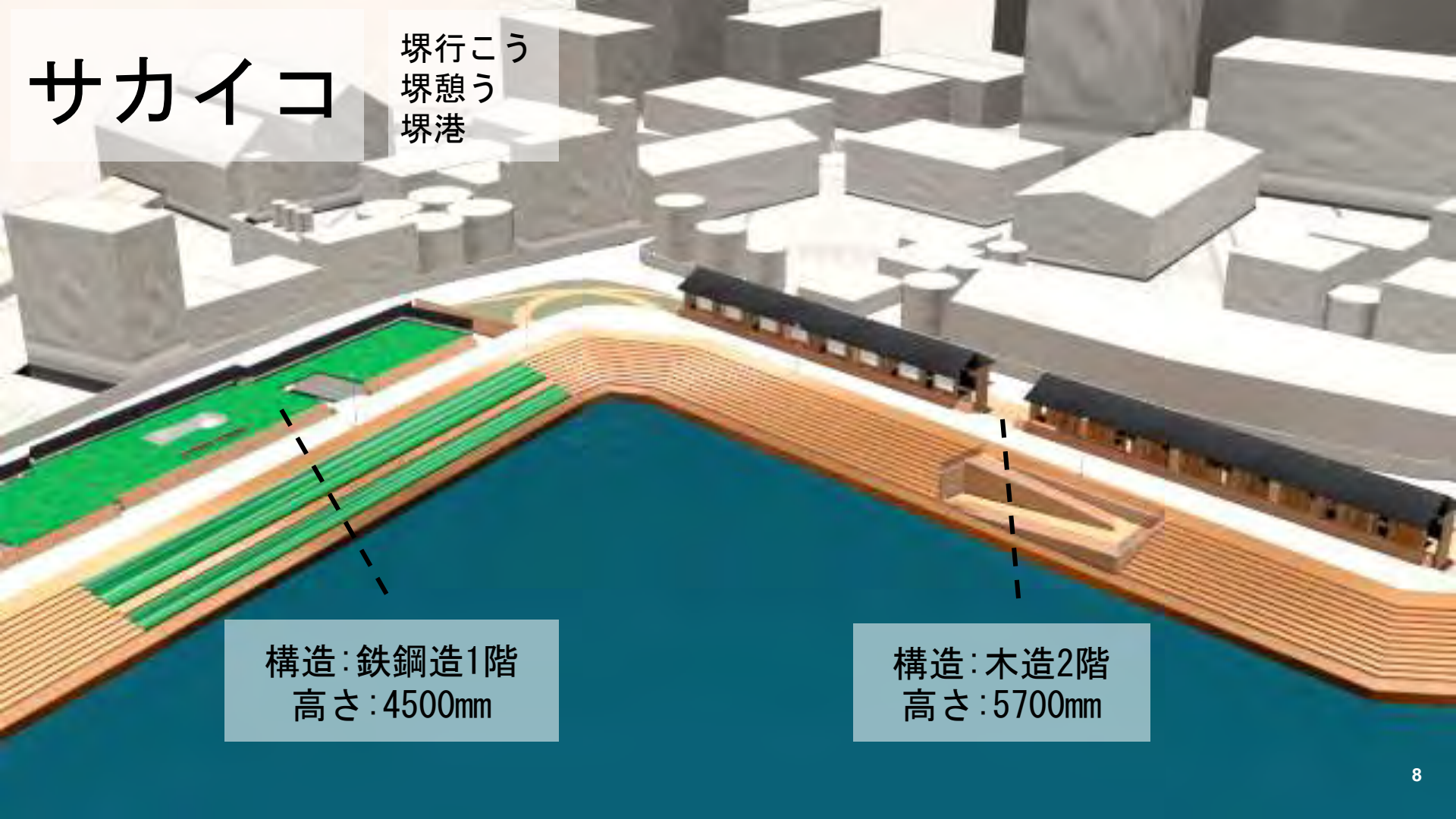
オリジナルロゴ

自転車や港をモチーフにロゴを作成。



サカイコ

こう
行
塀
塀
塀
港



構造：鉄鋼造1階
高さ：4500mm

構造：木造2階
高さ：5700mm



サカイコ（府有地の活用）



来訪者向け

- ・ 図書館、コワーキングスペースを配置
落ち着いた学べる空間へ

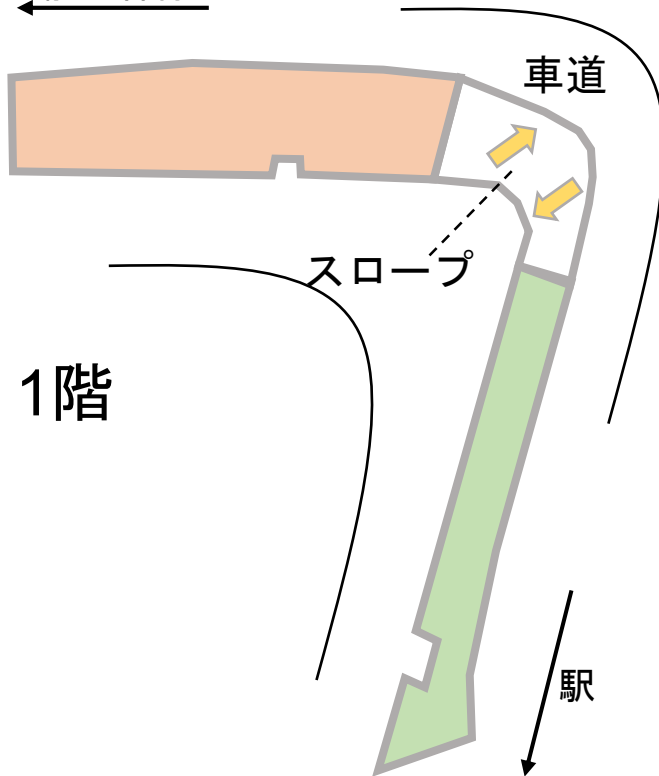


地域住民向け

- ・ 店舗を配置
帰り道に寄れる商店街のような空間へ



龍女神像





サカイコ（府有地の活用）



地域住民向け

- ・ 屋上緑化を配置
だれでもふらっと休憩
できるような空間へ



来訪者向け

- ・ 飲食店を配置
テイクアウトし、
護岸の親水空間へ



龍女神像



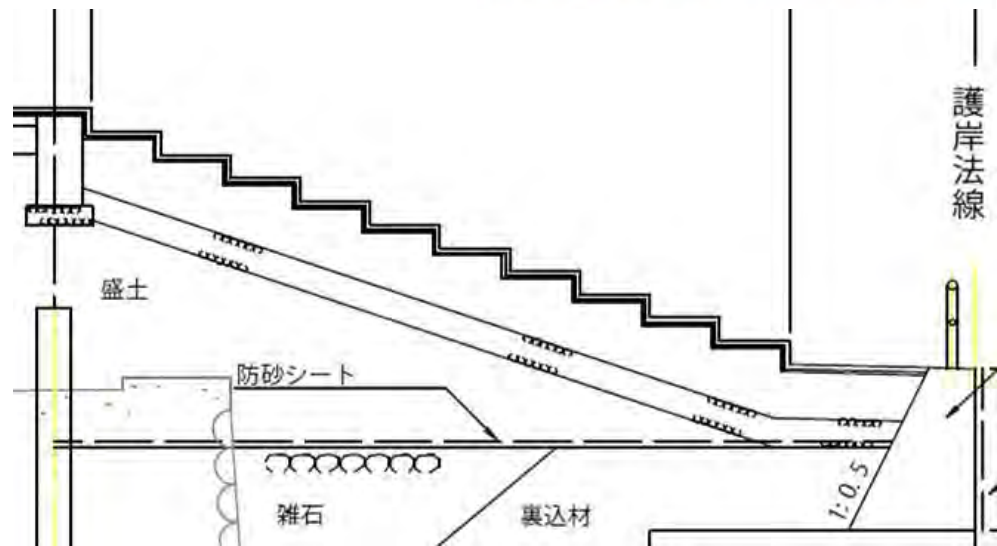
駅

護岸ぶっこわし計画



現存の階段式護岸は

- ・ 単調で魅力がない
- ・ 下へ降りる動線が曖昧
- ・ 落ち着ける場所が明確にない

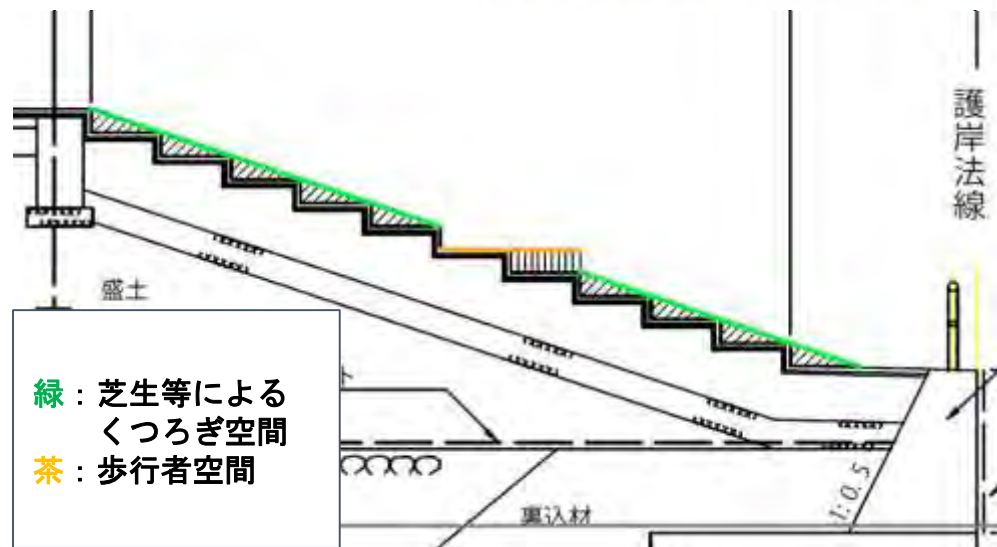


護岸ぶっこわし計画



現存の階段式護岸は

- ・ 単調で魅力がない
- ・ 下へ降りる動線が曖昧
- ・ 落ち着ける場所が明確にない



護岸ぶっこわし計画



既存の階段式護岸の上面に芝生を敷き詰める。

- ・ 休憩スペースと歩行空間を区別する。
- ・ 空間にメリハリが生まれ、屋上緑化から緑がつづくイメージへ





サカイコ（府有地の活用）



1階

インフォメーションセンター

テラス

交流スペース

図書館

カフェ

スロープ

食品店街

スロープ

カフェ・図書館前



食品街





サカイコ（府有地の活用）



2階



駅からのアプローチ



駅から対象地までの導線を環濠都市&南蛮の雰囲気ある道 歩行者天国へ

①
現
在

道路幅：約8.0 m
車道：5.0 m (二車線)
歩道：3.0 m

対象地の認知度 **低**
駅からの導線が分かりづらい



提
案

休日・祝日のPMのみ

「歩行者天国」

道路幅：約8.0 m
車道+歩道：5.0 m+ 3.0 m

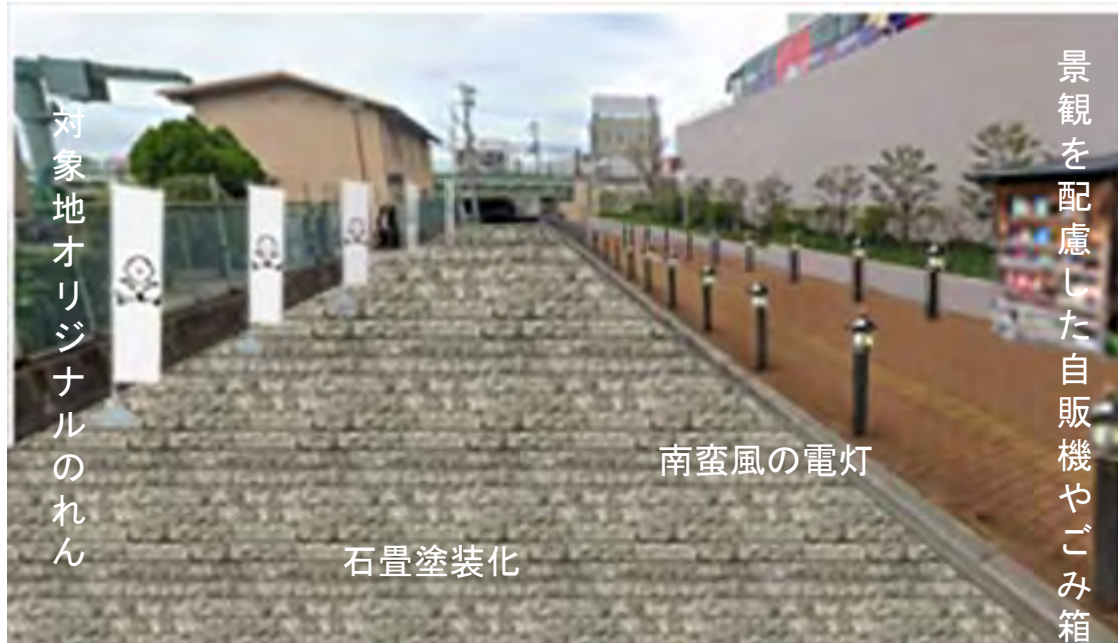


②

通行車両の多
くが周辺の
工場への移動
軽トラ等



駅からのアプローチ



対象地オリジナルのれん

南蛮風の電灯

石畳塗装化

景観を配慮した自販機やごみ箱



- ・ 視覚的にも人目も惹く環濠都市風の街路にデザインを変更
- ・ 平日 車道は今まで通り、2車線の道路
休日 午後の時間帯のみ、車道も歩行者専用道路に
- ・ 高架下にも電灯が並ぶことで夜道も明るく、安全
- ・ 新デザインの街路が対象敷地まで続く



既存の堺駅レンタサイクリングと**統合案**

既存のレンタサイクリングは公益社団法人堺観光コンベンション協会が行っている。
 レンタサイクル貸出所 (現状、ポートはなし)

- ・現在は以下の3か所しかない
- ・借りた貸出所以外の返却は事前予約が必要



ポンプ場跡地にレンタサイクリング
 の拠点を設置する提案

堺の文化である自転車を
 活かした新たなハブ拠点に！





Sakycle Port (ポンプ場の活用)



気軽に”手ぶらサイクリング“の利用例

Step 1

更衣室で着替え、
荷物をロッカーに預ける

Step 2

コース説明を貸出所にて受ける

Step 3

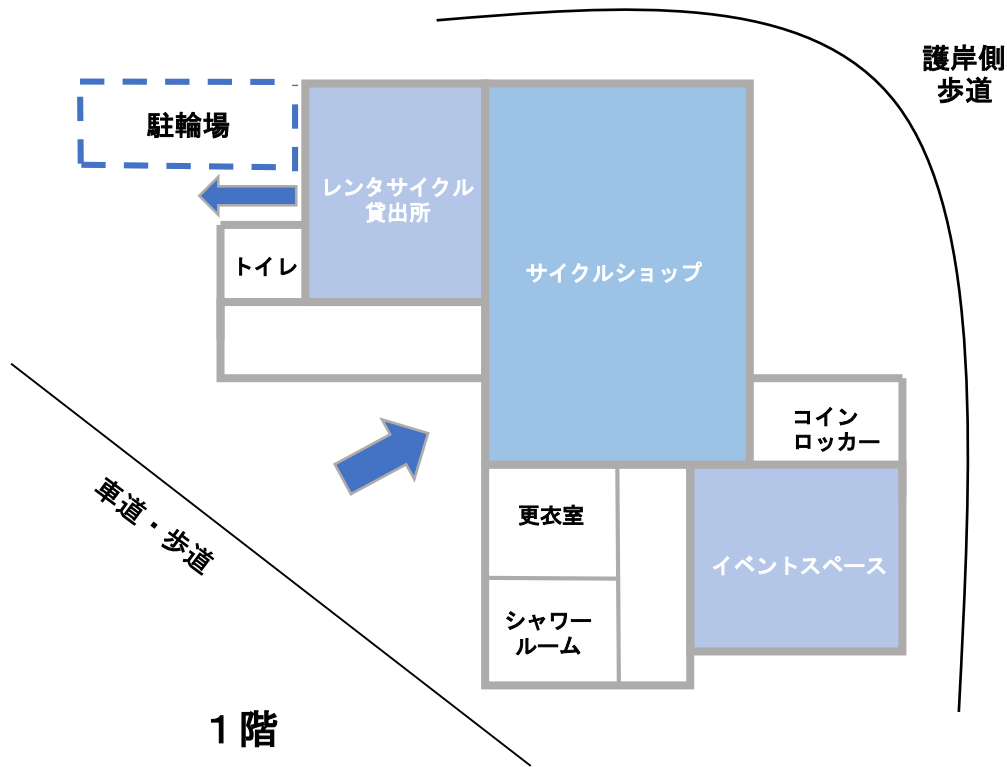
自転車をレンタルし、出発

Step 4

当施設にて返却する場合、
自転車返却後、シャワールームへ

Step 5

来た時と同じ状態で帰宅
もしくは、サカイコでくつろぐ





Sakycle Port (ポンプ場の活用)



気軽に”手ぶらサイクリング“の利用例

Step 1

護岸側から2階駐輪場へ

Step 2

サイクルカフェで購入後、座席で一休み（目につく範囲に自転車）
もしくはサイクルショップで買い物

Step 3

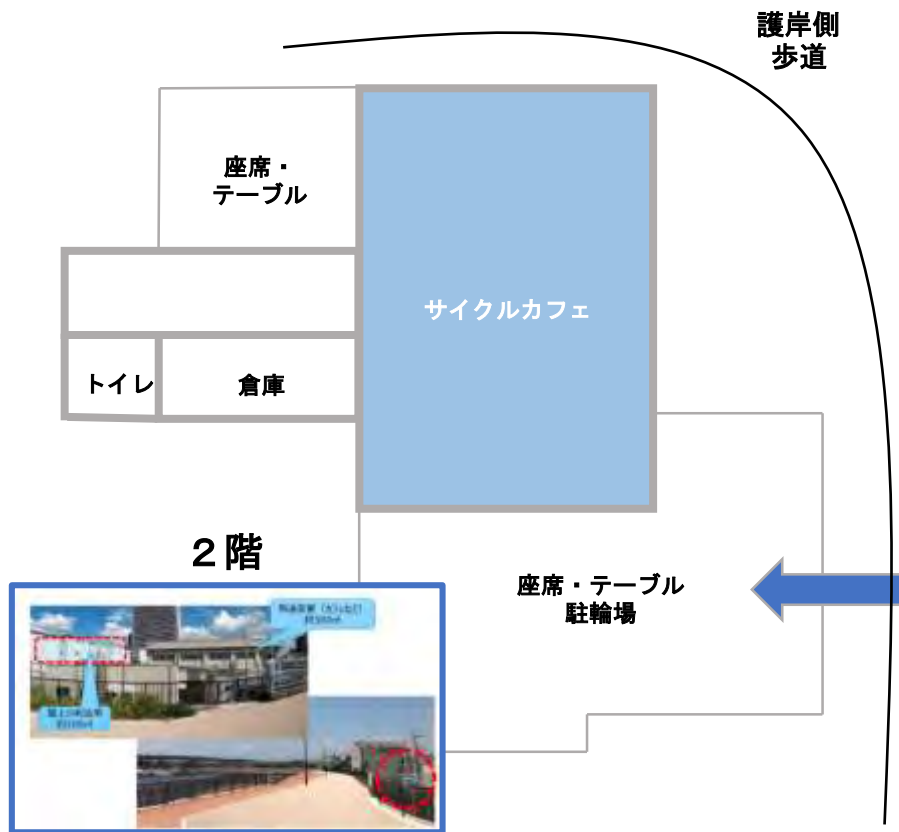
自転車に乗り、コースでサイクリング

Step 4

当施設にて返却する場合、
自転車返却後、シャワールームへ

Step 5

来た時と同じ状態で帰宅
もしくは、**サカイコ**でくつろぐ





Sakycle Port (ポンプ場の活用)



環濠都市・堺旧港・仁徳陵古墳を満喫する新たなコースを提案

所要時間
2～3時間

Total 14.5 km



① サイクル堺

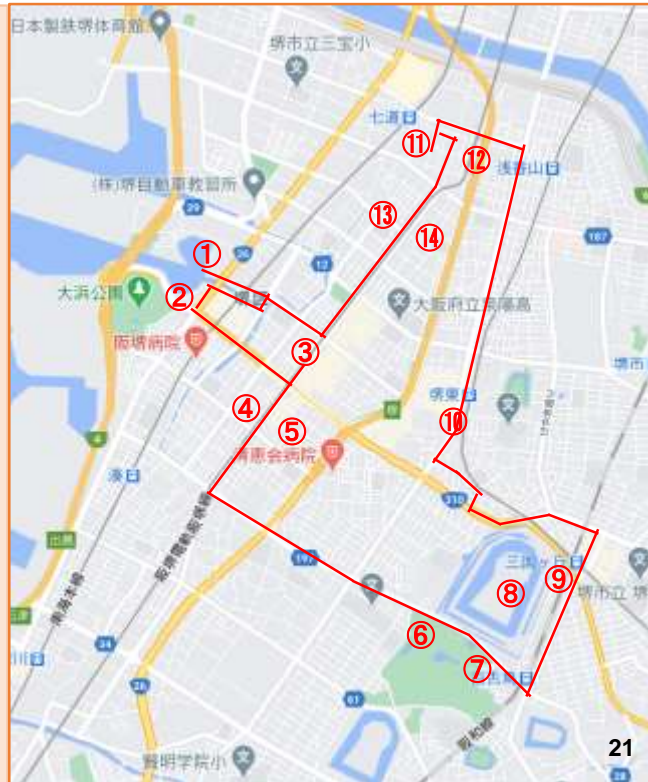


⑧ 仁徳天皇陵古墳



⑪ 堺市立町屋歴史館

- ① サイクル堺
- ② 堺魚市場
- ③ 与謝野晶子生家跡
- ④ さかい利晶の社
- ⑤ 千利休屋敷跡
- ⑥ 自転車博物館
- ⑦ 堺市博物館
- ⑧ 仁徳天皇陵古墳
- ⑨ Co. FUN (こ・ふん) カフェ
- ⑩ 堺市役所展望台
- ⑪ 堺市立町屋歴史館
- ⑫ 堺鉄砲館
- ⑬ 堺市立町屋歴史館 山口家
- ⑭ 茶寮つぼ市製茶本舗



堺旧港の利用例

地域住民なら、、、



パターン1：自転車利用

- 休日、自転車でSakycle Port到着
自転車を止め、サイクルカフェで昼食を楽しむ
- サカイコ・護岸へ移動
カフェや雑貨屋を周りながら
護岸や屋上広場で休む
- 夕食用に惣菜や野菜を買いに
食品エリアを散策
- ▼ 自宅へ帰る

パターン2：サカイコ利用

通学

- 堺駅到着
- 対象施設到着
カフェや図書館等で
勉強や休憩
- ▼ 帰路へ

通勤

- 堺駅到着
- 対象施設到着
お惣菜屋さん等で買い物
- ▼ 帰路へ



堺旧港の利用例

来訪者なら、、、



パターン1：自転車利用

- 堺駅到着
- Sakycle Port到着
レンタサイクルを借りて、
サイクルマップを入手
- サイクリングコースを周る
- Sakycle Portへ戻る
レンタサイクルを返却
- サカイコへ移動
カフェor足湯で景色を見ながら休憩
- ↓ 帰路へ

パターン2：サカイコ利用

- 堺駅到着
- サカイコ到着
飲食店でテイクアウトし、護岸 or 屋上広場で
景色を楽しみながら昼食
- 屋上広場や芝で子どもと遊ぶ
or
交流スペースでの催しに参加
- インフォメーションセンターでマップ入手
- ↓ 堺駅東側エリアへ

観光マップ、カフェマップなど